現代ヒンディー語文法概説
—初級～初中級編—

Handbook of Modern Hindi Grammar: For Primary and Pre-intermediate Levels

西　岡　美　樹

はじめに

　本書は、日本語母語話者用にヒンディー語の初級および初中級レベルの文法を解説したものである。ヒンディー語の校正については、筆者の恩師である Prof. Ashwani Kumar Srivastava とご息女であり筆者の旧友でもある Ms. Gunjan Sharma に担当していただいた。また、本書を TeXLive で処理するにあたり、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所の澤田英夫教授にご指導を賜った。ここに深く御礼申し上げる。

2016年6月17日

西岡　美樹

目次

1　単文

1.1　人称代名詞とコピュラ (होना) 現在時制（「○○は△△だ。」）

人称代名詞とコピュラの変化			
人　称	単　　数	人　称	複　　数
1人称	मैं △△ हूँ	1人称	हम △△ हैं
2人称	तू △△ है	2人称	तुम △△ हो
		2人称	आप △△ हैं
3人称	वह △△ है	3人称	वे △△ हैं
	यह △△ है		ये △△ हैं

A.　主語（S）　名　詞（N）　コピュラ　＝　「SはNだ。」

B.　主語（S）　形容詞（A）　コピュラ　＝　「SはA。」

C.　主語（S）　動　詞（V）　コピュラ　＝　「SはVて・いる／ある。」

- 主語（S）　未完了分詞（V）　コピュラ
- 主語（S）　完了分詞　（V）　コピュラ

ポイント

1)「△△」には、名詞、形容詞、動詞が代入される。
2) 動詞の形態には、未完了分詞（未完了形）と完了分詞（完了形）がある。
3) 現在時制には未完了分詞＋コピュラの複合形が使用される。
4) 完了分詞＋コピュラの複合形は、現在完了（英文法のそれとは若干異なるので注意）に使用される。

1.2　肯定・否定を問う疑問文の作り方

肯否疑問文

A.　क्या　文　?

B.　文　क्या ?

答え方

肯定「はい」　＝ जी हाँ,　हाँ,　हाँ जी
否定「いいえ」＝ जी नहीं,　नहीं,　नहीं जी

ポイント

1) 肯否疑問文は क्या を文頭に付加する A. のパターンが標準。例）क्या आप शर्मा जी हैं?
2) जी を付けるのは丁寧さを表すためのもので、友達等親しい間柄で話す場合は、जी は不要。
3) जी は通常名前の尊称（日本語の○○さんの「さん」）に付けられる。
4) जी を否定辞の前あるいは後に付ける。

1.3　否定辞の配置

A.　主語（S）　名　詞（N）　नहीं　コピュラ　＝　「SはNではない。」

B.　主語（S）　形容詞（A）　नहीं　コピュラ　＝　「SはAではない。」または「SはAくない。」

C.　主語（S）　नहीं　動　詞（V）　コピュラ　＝　「SはVて・いない／ない。」

ポイント

1) 名詞もしくは形容詞が述語の場合、コピュラの前に否定辞が置かれる。
2) 動詞が述語の場合、文末がコピュラ現在なら省略可。ただし、例２のように女性・複数形のコピュラが省略される時には、鼻音部分が未完了分詞に移動する。
   例１）मैं काम नहीं करता (हूँ)।「僕は仕事をしない。」
   例２）वे महिलाएँ काम नहीं करतीं (= करती हैं)।「あの女の人たちは仕事をしない。」
3) 動詞が述語の場合でも、コピュラの直前に否定辞がくる場合もある。一種の強調文になる。

1.4　疑問詞を使った疑問文の作り方

疑問詞一覧									
だ　れ	な　に	ど　こ	い　つ	な　ぜ	どのような	ど　の	どれぐらいの	どちら
कौन	क्या	कहाँ	कब	क्यों	कैसा	कौन-सा	कितना	किधर

ポイント

1) 疑問詞の語順移動はなし。基本的に日本語と同じ要領。
2) 疑問詞 कितना は感嘆文に使用される。

1.5 疑問詞,指示詞（近称詞･遠称詞）,関係詞総覧

	人	物	場　所	時	理　由	様　態	選　択	数・量	方向
疑　問　詞	कौन	क्या	कहाँ	कब	क्यों	कैसा	कौन-सा	कितना	किधर
指示詞 (近称)	यह	यह	यहाँ	अब	यों	ऐसा	—	इतना	इधर
指示詞 (遠称)	वह	वह	वहाँ, तहाँ[a]	तब	त्यों[b]	वैसा, तैसा[c]	—	उतना	उधर
関　係　詞	जो	जो	जहाँ	जब	ज्यों	जैसा	—	जितना	जिधर

[a] ‘t-’音で始まるものは、イディオムに使用されることが多い、古い形。通常使うのは‘v-’音で始まる वहाँ。
[b] 慣用表現に使われることが多い。9.1.3を参照。
[c] 同上

ポイント

1) ヒンディー語では、近称詞‘यह’「これ（それ）」遠称詞‘वह’「あれ（それ）」は、人・物の両方に使用する。
2) この近称・遠称詞の属格形「この／あの（その）」も、主格形の「これ／あれ（それ）」と同じ‘यह ／ वह’ 。
3) これら‘यह ／ वह’は、発音と表記が一致しない。発音はそれぞれ、[ye ／ vo］となる。
4) 様態、選択、数・量の列は形容詞的に働く場合、後続する名詞の性、数に一致する。例）कितना पानी「どのぐらいの水」

2　名詞、形容詞

2.1　名詞と形容詞の性と数の変化　その1

2.1.1　名詞の変化【主格，対格（＝ガ格、ヲ格の場合）】

男性名詞の例　लड़का「男の子」、अध्यापक「先生」、अतिथि「お客」、विद्यार्थी「学生」、उल्लू「フクロウ」
女性名詞の例　लड़की「男の子」、विधि「決まり」、चिड़िया「鳥」、मेज़「机」、महिला「女性」、धेनु「乳牛」、गाय「雌牛」

男性名詞 (-ā 語尾)		男性名詞 (その他)		女性名詞 (-ī/-i/-iyā 語尾)		女性名詞 (その他)	
単　数	複　数	単　数	複　数	単　数	複　数	単　数	複　数
लड़का	लड़के	अध्यापक	अध्यापक	लड़की	लड़कियाँ	मेज़	मेज़ें
—	—	अतिथि	अतिथि	विधि	विधियाँ	महिला	महिलाएँ
—	—	विद्यार्थी	विद्यार्थी	चिड़िया	चिड़ियाँ	धेनु	धेनुएँ
—	—	उल्लू	उल्लू	—	—	गाय	गायें

ポイント

1) 男性名詞は-ā 語尾のもののみ語尾変化する。それ以外は変化しない。
2) -ā 語尾で不変化の男性名詞は、サンスクリット語の राजा「王」、नेता「指導者」や पिता「父」、चाचा「父方の叔父」のような親族名称等。
3) 女性名詞はすべて単数、複数に応じて語尾変化する。

2.1.2　形容詞の変化【主格，対格（＝ガ格、ヲ格の場合）】

-ā 語尾の形容詞の例　अच्छा「良い」
それ以外の形容詞の例　सुंदर「美しい」

男性名詞 (-ā 語尾)		男性名詞 (その他)	
単　数	複　数	単　数	複　数
अच्छा लड़का	अच्छे लड़के	अच्छा अध्यापक	अच्छे अध्यापक
सुंदर लड़का	सुंदर लड़के	सुंदर अध्यापक	सुंदर अध्यापक

女性名詞 (-ī/-i/-iyā 語尾)		女性名詞 (その他)	
単　数	複　数	単　数	複　数
अच्छी लड़की	अच्छी लड़कियाँ	अच्छी मेज़	अच्छी मेज़ें
सुंदर लड़की	सुंदर लड़कियाँ	सुंदर मेज़	सुंदर मेज़ें

ポイント

1) 形容詞は-ā 語尾のもののみ、後続の名詞の性と数に応じて変化する。
2) -ā 語尾以外の形容詞は変化しない。
3) 不変化の形容詞（ペルシャ語系）の例：बढ़िया「素晴らしい」、ज़्यादा「多くの」、शादी-शुदा／तलाक़-शुदा「既婚の／離婚した」、ताज़ा「新鮮な」、पैदा「生まれた」、ज़िंदा「生きている」等。

2.2　名詞の性と数の変化　その2【後置詞が付く場合=「斜格」】

後置詞の例（詳しくは次章を参照）

① 与　格　・・・　को「に」
② 位置格　・・・　में「～（の中）に」, पर「～（の上）に」
③ 道具格　・・・　से「で」
④ 奪　格　・・・　से「から」

男性名詞 (-ā 語尾)		男性名詞 (その他)		女性名詞 (-ī/-i/-iyā 語尾)		女性名詞 (その他)	
単　数	複　数	単　数	複　数	単　数	複　数	単　数	複　数
लड़के को	लड़कों को	अध्यापक को	अध्यापकों को	लड़की को	लड़कियों को	मेज़ पर	मेज़ों पर
―	―	अतिथि को	अतिथियों को	विधि को	विधियों को	महिला को	महिलाओं को
―	―	विद्यार्थी को	विद्यार्थियों को	चिड़िया को	चिड़ियों को	धेनु को	धेनुओं को
―	―	उल्लू को	उल्लुओं को	―	―	गाय को	गायों को

ポイント

1) 後置詞が付いた時、-ā 語尾の男性名詞および形容詞がが-e に変化する。
2) 複数形の場合は、男性名詞、女性名詞問わず接辞-õ が付く。

2.2.1　形容詞の変化【後置詞が付く場合=「斜格」】

-ā 語尾の形容詞の例　अच्छा「良い」
それ以外の形容詞の例　सुंदर「美しい」

男性名詞 (-ā 語尾)		男性名詞 (その他)	
単　数	複　数	単　数	複　数
अच्छे लड़के को	अच्छे लड़कों को	अच्छे अध्यापक को	अच्छे अध्यापकों को
सुंदर लड़के को	सुंदर लड़कों को	सुंदर अध्यापक को	सुंदर अध्यापकों को
女性名詞 (-ī/-i/-iyā 語尾)		**女性名詞 (その他)**	
単　数	複　数	単　数	複　数
अच्छी लड़की को	अच्छी लड़कियों को	अच्छी मेज़ पर	अच्छी मेज़ों पर
सुंदर लड़की को	सुंदर लड़कियों को	सुंदर मेज़ पर	सुंदर मेज़ों पर

ポイント

1) 変化するのは-ā 語尾の形容詞のみ。
2) 形容詞が名詞化して用いられた場合は、単数の場合語尾が-e になり、複数の場合は接辞-õ が付く。例）बड़ा「大きい」→「大人、目上」⇒ बड़े ／बड़ों को

2.3　数詞

基数詞										
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
＋０	०	१	२	३	४	५	६	७	८	९
	शून्य	एक	दो	तीन	चार	पाँच	छः	सात	आठ	नौ
＋１０	१०	११	१२	१३	१४	१५	१६	१७	१८	१९
	दस	ग्यारह	बारह	तेरह	चौदह	पंद्रह	सोलह	सत्रह	अठारह	उन्नीस
＋２０	२०	२१	२२	२३	२४	२५	२६	२७	२८	२९
	बीस	इक्कीस	बाईस	तेईस	चौबीस	पच्चीस	छब्बीस	सत्ताईस	अट्ठाईस	उनतीस
＋３０	३०	३१	३२	३३	३४	३५	३६	३७	३८	३९
	तीस	इकतीस	बत्तीस	तैंतीस	चौंतीस	पैंतीस	छत्तीस	सैंतीस	अड़तीस	उनतालीस
＋４０	४०	४१	४२	४३	४४	४५	४६	४७	४८	४९
	चालीस	इकतालीस	बयालीस	तैंतालीस	चवालीस	पैंतालीस	छियालीस	सैंतालीस	अड़तालीस	उनचास
＋５０	५०	५१	५२	५३	५४	५५	५६	५७	५८	५९
	पचास	इक्यावन	बावन	तिरपन	चौवन	पचपन	छप्पन	सतावन	अठावन	उनसठ
＋６０	६०	६१	६२	६३	६४	६५	६६	६७	६८	६९
	साठ	इकसठ	बासठ	तिरसठ	चौंसठ	पैंसठ	छियासठ	सड़सठ	अड़सठ	उनहत्तर
＋７０	७०	७१	७२	७३	७४	७५	७६	७७	७८	७९
	सत्तर	इकहत्तर	बहत्तर	तिहत्तर	चौहत्तर	पचहत्तर	छिहात्तर	सतहत्तर	अठहत्तर	उनासी
＋８０	८०	८१	८२	८३	८४	८५	८६	८७	८८	८९
	अस्सी	इक्यासी	बयासी	तिरासी	चौरासी	पचासी	छियासी	सतासी	अठासी	नवासी
＋９０	९०	९१	९२	९३	९४	९५	९६	९७	९८	९९
	नब्बे	इक्यानवे	बानवे	तिरानवे	चौरानवे	पचानवे	छियानवे	सतानवे	अठानवे	निन्यानवे

100.	1,000.	10,000.	100,000.	1,000,000.	10,000,000.	100,000,000.	1,000,000,000.
百	千	万	十万	百万	千万	億	十億
सौ	हज़ार	दस हज़ार	लाख	दस लाख	करोड़	दस करोड़	अरब

序数詞										
	１番	２番	３番	４番	５番	６番	７番	８番	９番	１０番
口語・文語体両用	पहला	दूसरा	तीसरा	चौथा	पाँचवाँ	छठा	सातवाँ	आठवाँ	नवाँ	दसवाँ
文語体（Sanskrit）	प्रथम	द्वितीय	तृतीय	चतुर्थ	पंचम	षष्ठ	सप्तम	अषटम	नवम	दशम

集合数詞									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
—	दोनों	तीनों	चारों	पाँचों	छहों	सातों	आठों	नवों	दसों

何十の	何百の	何千の	何十万の	何千万の
बीसियों	सैकड़ों	हज़ारों	लाखों	करोड़ों

分数詞			
$1\frac{1}{2}$	$2\frac{1}{2}$	$+\frac{1}{4}$	$-\frac{1}{4}$
डेढ़	ढाई	सवा	पौन, पौना

ポイント

1) 二桁以上は、基本的に一桁目＋二桁目の構造である。
2) 6の छः は छे と発音するため、これをそのまま書くこともある。
3) 下桁が9の場合は次の二桁台の音に उन्-「前の」が付く。例）उनतीस「29（＝30の前）」
4) 基数詞18の अठारह は अट्ठारह と表記されることもある。
5) 10以上の序数詞（上段）には、基数詞に-वाँを付けて表す
6) 集合数詞は「二つとも」､「三人とも」のような意を表すのに使用される。
7) 何十、何百等数量の多いことを表す数詞は-õ が付いたものになる。
8) $1\frac{1}{2}$ と$2\frac{1}{2}$ は、時間の表現（一時半、二時半）にも用いられる。後節の12.4を参照。
9) 倍数詞として दुगना「２倍」、तिगुना「３倍」の語彙がある。（４以上は数詞＋ गुना「倍」で表す。）

3　後置詞、代名詞、小詞、副詞

3.1　後置詞（日本語の格助詞に相当）

3.1.1　後置詞の種類

	名詞の格	形　式	説　明	形式格
①	主　格	名詞　＋　ゼロ	主語はすべてこの形式	直　格
②	対　格	名詞　＋　ゼロ	通常の目的語はこの形式	直　格
		名詞　＋　को	（本来は与格用）	斜　格
③	与　格	名詞　＋　को	「に」に相当	斜　格
④	属　格	名詞　＋　का (की, के)	「の」に相当	斜　格
⑤	奪　格	名詞　＋　से	「から」に相当	斜　格
⑥	道具格	名詞　＋　से	「で、～によって」に相当	斜　格
⑦	位置格	名詞　＋　में	「に、～の中に」に相当	斜　格
		名詞　＋　पर	「で、に、～の上に」に相当	斜　格
⑧	方向格	名詞　＋　ゼロ	通常はこの形式。例：आगरे「アーグラへ」	斜　格
		名詞　＋　को	本来は与格用。稀。	斜　格
⑨	終点・到達格	名詞　＋　तक	「まで」に相当	斜　格
⑩	能格	名詞　＋　ने	（特　殊）	（混　在）

ポイント

1) ②対格の को が付かない場合と付く場合については、3.1.3を参照。
2) ③与格の को は与格主語でよく使われる。
3) ④属格の का は男性・単数形、के は男性・複数形、की は女性形（単数・複数の区別なし）。
4) ⑧の方向格の名詞＋ゼロについて、名詞が固有名詞の場合は必ずしも変化させる必要はない。例）मैं आगरा गया।「僕はアーグラへ行った。」
5) ⑩能格は、他動詞が過去時制（動詞の形態は完了分詞と同じ）で使用された場合、動作主（＝意味上の主語）に付加される。その際、意味上の目的語が文法上の主語となり、その性・数に述語動詞部分を一致させる。
6) ⑩能格について、動作主が一人称、二人称代名詞の場合、直格形に ने が付着する。詳しくは3.1.2を参照。

3.1.2　人称代名詞と後置詞の組み合わせ

人称代名詞の直格形（主格）と斜格形（その他の格）				
直格形	斜格形＋ को（与格、対格）	斜格形＋ का（属格）	斜格形＋その他（例 : से）	直格／斜格形＋ ने
मैं	मुझ को または मुझे	मेरा (का 入り)	मुझ से	मैंने
हम	हम को または हमें	हमारा (का 入り)	हम से	हमने
तू	तुझ को または तुझे	तेरा (का 入り)	तुझ से	तूने
तुम	तुम को または तुम्हें	तुम्हारा (का 入り)	तुम से	तुमने
आप	आप को	आप का	आप से	आपने
वह	उस को または उसे	उस का	उस से	उसने
यह	इस को または इसे	इस का	इस से	इसने
वे	उन को または उन्हें	उन का	उन से	उन्होंने
ये	इन को または इन्हें	इन का	इन से	इन्होंने
कौन ／ क्या 単数	किस को または किसे	किस का	किस से	किसने
कौन ／ क्या 複数	किन को または किन्हें	किन का	किन से	किन्होंने
कोई	किसी को	किसी का	किसी से	किसी ने

ポイント

1) ここでは人称代名詞と後置詞を分かち書きしてあるが、これらはくっつけて書くことの方が多い。(例 : इस को → इसको, उस का → उसका)
2) 人称代名詞に付く能格の後置詞'ने'については、一人称、二人称については直格系に、三人称については斜格形もしくはその特殊に付く。
3) なお、ヒンディー語の双生語といえるウルドゥー語（アラビア文字を使用）では、後置詞は基本的に分かち書きをする。

3.1.3　後置詞 को の特殊な使い方

後置詞 को は本来与格に付くが、目的語に付加されることもある。

A. बच्चे किताब पढ़ते हैं।　「子供たちは本を読みます。」(को なし)

B. बच्चे किताब को पढ़ते हैं।　「子供たちは本を読みます。」(को あり)

C. हम लोग जानवर नहीं मारते हैं।　「私たちは動物を殴りません。」(को なし)

D. हम लोग जानवरों को नहीं मारते हैं।　「私たちは動物を殴りません。」(को あり)

E. सब लोग हर रोज़ रात में ३ से ७ सपने देखते हैं, लेकिन ज़्यादातर उन सपनों को भूल जाते हैं।
「皆毎夜3から7つ夢を見るが、それらの夢の多くを忘れてしまう。」

Hindi Universe
http://www.universeinhindi.com/2016/01/lucid-dreaming-hindi.html

ポイント

1) A.と B.は目的語が非生物の किताब「本」になっている。को なしの前者は不特定な本を指すが、को ありの後者は、「本」が文脈上既出あるいは情報共有されている「本」であることを示す。つまり、この को は英語の定冠詞のような役割を果たすものである。
2) C.と D.は目的語が生物になっているが、機能は上記の「本」と同じである。
3) 人（特に固有名詞）が目的語である場合は、通常、主語との目的語の識別のために目的語に को を付ける。
4) E.は को なしの目的語と को ありの目的語が両方表われている例。

3.2　小詞（日本語の係助詞､副助詞に相当）

3.2.1　小詞一覧

	小　詞	例	訳	対応副助詞
①	भी	वह भी आएगा।	彼も来るだろう。	「も」に相当
②	ही	मैं ही चाय पीता हूँ।	僕だけがチャーイを飲む。	「だけ、こそ」に相当
③	तो	वह तो पागल है।	やつはバカだ。	「は」に相当
④	तक	उस के पास एक पैसा तक न रहा।	彼には一文も残らなかった。	「さえ、も、すら」に相当

名詞（主語）の場合

(1) a. मैं भी चाय पीता हूँ।「僕もチャーイを飲む。」
b. मैं ही चाय पीता हूँ।「僕だけチャーイを飲む。」
c. मैं तो चाय पीता हूँ।「僕はチャーイを飲むけど…（例：あなたは飲むの？）。」

名詞（目的語）の場合

(2) a. मैं चाय भी पीता हूँ।「僕はチャーイも飲む。」
b. मैं चाय ही पीता हूँ।「僕はチャーイだけ飲む。」⇒「チャーイしか飲まない。」
c. मैं चाय तो पीता हूँ।「僕はチャーイは飲むけど…（例：コーヒーは飲まない）。」

形容詞の場合

(3) a. यह साड़ी अच्छी भी है, सस्ती भी है।「このサリーはよくもあり、安くもある。」⇒「このサリーはいいし、安い。」
b. यह साड़ी अच्छी ही है।「このサリーはとてもいい。」
c. यह साड़ी अच्छी तो है…「このサリーはいいんだけど…（例：値段が高い）。」

動詞の場合

(4) वे　गीत　लिखते　भी　हैं,　गाते　भी　हैं।
あの方　歌　書いて　＜小詞＞　いる　歌って　＜小詞＞　いる。
「あの方は歌を書きもするし歌いもする。」

3.2.2　特殊な ही 入り代名詞一覧

	直格形	強調形	斜格形	強調形	場　所	強調形	時	強調形
指示詞（近称）	यह ／ ये	यही ／—[a]	इस ／ इन	इसी ／ इन्हीं	यहाँ	यहीं	अब	अभी
指示詞（遠称）	वह ／ वे	वही ／—[b]	उस ／ उन	उसी ／ उन्हीं	वहाँ	वहीं	तब	तभी
疑　問　詞	कौन ／ क्या	कोई ／ कुछ	किस ／ किन	किसी ／ किन्हीं	कहाँ	कहीं	कब	कभी

ポイント

1) 一語彙化した強調形には、表に挙げた他、सब ＋ ही ＝ सभी「すべての」、एक ＋ ही ＝ एकी「たった一つの」がある。
2) なお、小詞としての तक の使用頻度は他の３つに比べ低い。

3.3　副詞または副詞句

以下に主な副詞と副詞句を挙げる。副詞に付記している省略記号は、［A］アラビア語、［P］ペルシャ語、［S］サンスクリット語、［H］ヒンディー語（土着語）を指す。

3.3.1　副詞

ज़रूर［A］／ अवश्य［S］「必ず、絶対」
हमेशा［P］／ सदा［S］「いつも、常に」
कभी-कभी［H］「時々」
प्राय:［S］／ फलत:［S］／ साधारणत:［S］「一般的に、普通」
कृपया［S］「どうか」

3.3.2　副詞句

後置詞句、分詞句による副詞句

आम तौर पर　「一般的に、普通」
ख़ास तौर पर, विशेष रूप से, ख़ासकर, विशेषकर　「特に、とりわけ」
～की कृपा से, ～की मेहरबानी से　「～のおかげで」
कृपा ／ मेहरबानी करके　「慈悲をして」⇒「どうか」[*1]

否定辞と共起するもの

बिल्कुल ／ कदापि ／ हरग़िज़ ～ नहीं　「全然～ない、全く～ない、絶対～ない」
कोई ～ नहीं　「誰も～ない」
कोई ○○～ नहीं　「何の○○も～ない」
कुछ ／ कुछ भी ～ नहीं　「何も～ない、少しも～ない」
कुछ ○○～ नहीं　「少しの○○も～ない」

[*1] 以下4.3.4を参照。

कभी ～ नहीं　「決して～ない」

4　動詞

4.1　動詞の非定形

形　態	格：性・数	‘होना’「なる」	‘जाना’「行く」	‘करना’「する」
語　　幹	（無変化）	हो	जा	कर
不　定　詞	直格：男性・単数	होना	जाना	करना
	直格：男性・複数	होने	जाने	करने
	直格：女性・単数／複数	होनी	（なし）	करनी
	斜格	होने	जाने	करने
未完了分詞	直格：男性・単数	होता	जाता	करता
	直格：男性・複数	होते	जाते	करते
	直格：女性・単数／複数	होती	जाती	करती
	斜格	होते	जाते	करते
完了分詞	直格：男性・単数	हुआ	गया	किया
	直格：男性・複数	हुए	गए (गये)	किए (किये)
	直格：女性・単数	हुई	गई (गयी)	की
	直格：女性・複数	हुईं	गईं (गयीं)	कीं
	斜格	हुए	गए (गये)	किए (किये)

ポイント

1) 不定詞は動名詞と同じ形。これを定形の述語動詞として使用すると、後述の命令表現に使用される。
2) 未完了分詞は語幹（不定詞から -ना を除いた形）に -ता, -ते, -ती を付加する。
3) 未完了分詞は事象の未完了性を表し、形容詞的（連体形に相当）に名詞を修飾したり、副詞的（連用形もしくは「ーて」形）に文を修飾したりする。また、これはコピュラの現在時制と併せて、現在時制に使用される。（以下の動詞の活用表を参照。）
4) 完了分詞（過去時制）は語幹（-ना を除いた形もしくは完了分詞専用の語幹）に、完了分詞の語尾 -या, -ये, -यी, -यीं（母音語幹用）か -आ, -ए, -ई, -ईं（子音語幹用）を付加する。
5) なお、完了分詞は、定形述語で使用されると単純過去時制を表す。表内に直格：女性・複数として挙げた -यीं ／ -ईं の形は、実際その時のみに現れる形。これは、ヒンディー語では文末に来る述語動詞で数の区別を表示するため、特に女性形で違いが明らかになる。例）साड़ी अच्छी है।／साड़ियाँ अच्छी हैं।　मेरी बहन कल आई।／श्रीमती शर्मा कल आईं।
6) 完了分詞が非定形で使用される場合は事象の完了を表し、未完了分詞と同じく形容詞的もしくは副詞的に使用されることがある。
7) 完了分詞の語尾 -ये, -यी, -यीं は、現代ではそれぞれ -ए, -ई, -ईं と表記することが多い。

4.2　定形動詞の活用例

A）‘होना’［コピュラ変化と自動詞変化］

A-1）コピュラ‘होना’：名詞＋「だ」，形容詞＋「(zero)」，動詞＋「ある／いる」

		直　説　法		条　件／仮　定　法		命令法
時　制	人称	単　　数	複　　数	単　　数	複　　数	
未　来	1	होऊँगा（हूँगा）	होंगे	होऊँ	हों	な　し
	2	होगा	होगे, होंगे	हो	हो, हों	
	3	होगा	होंगे	हो	हों	
現　在	1	हूँ	हैं	होता	होते	
	2	है	हो, हैं	होता	होते	
	3	है	हैं	होता	होते	
過　去	1	था (F:थी)	थे (F:थीं)	な　し		
	2	था (F:थी)	थे (F:थीं)			
	3	था (F:थी)	थे (F:थीं)			

A-2）自動詞‘होना’：「なる」

		直　説　法		条　件／仮　定　法		命令法
時　制	人称	単　　数	複　　数	単　　数	複　　数	
未　来	1	होऊँगा（हूँगा）	होंगे	होऊँ	हों	हो
	2	होगा	होगे, होंगे	हो	हो, हों	होओ
	3	होगा	होंगे	हो	हों	होइए
現　在	1	な　し[*2]		な　し		होइएगा
	2					
	3					
過　去	1	हुआ (F:हुई)	हुए (F:हुईं)	हुआ + होता	हुए + होते	
	2	हुआ (F:हुई)	हुए (F:हुईं)	हुआ + होता	हुए + होते	
	3	हुआ (F:हुई)	हुए (F:हुईं)	हुआ + होता	हुए + होते	

ポイント

1) 上記の表について、[F] は女性形を表す。
2) A-1はコピュラ変化を表す。現在時制を表すのはコピュラのみ。
3) A-2は日本語のナル動詞（自動詞）に対応する動詞変化。
4) A-2の直説法過去以外は A-1に同じ。

[*2] 特殊な意味になる。8.2を参照。

B）規則変化動詞

B-1）自動詞ー母音語幹‘आना’：「来る」

		直　説　法		条　件／仮　定　法		命令法
時　制	人称	単　数	複　数	単　数	複　数	
未　来	1	आऊँगा	आएँगे	आऊँ	आएँ	
	2	आएगा	आओगे, आएँगे	आए	आओ, आएँ	आ
	3	आएगा	आएँगे	आए	आएँ	
現　在	1	आता हूँ	आते हैं	आता	आते	आओ
	2	आता है	आते हो／हैं	आता	आते	
	3	आता है	आते हैं	आता	आते	आइए
過　去	1	आया	आए	आया + होता	आए + होते	
	2	आया	आए	आया + होता	आए + होते	आइएगा
	3	आया	आए	आया + होता	आए + होते	

B-2）自動詞ー子音語幹‘चलना’：「動く」

		直　説　法		条　件／仮　定　法		命令法
時　制	人称	単　数	複　数	単　数	複　数	
未　来	1	चलूँगा	चलेंगे	चलूँ	चलें	
	2	चलेगा	चलोगे, चलेंगे	चले	चलो, चलें	चल
	3	चलेगा	चलेंगे	चले	चलें	
現　在	1	चलता हूँ	चलते हैं	चलता	चलते	चलो
	2	चलता है	चलते हो／हैं	चलता	चलते	
	3	चलता है	चलते हैं	चलता	चलते	चलिए
過　去	1	चला	चले	चला + होता	चले + होते	
	2	चला	चले	चला + होता	चले + होते	चलिएगा
	3	चला	चले	चला + होता	चले + होते	

B-3）他動詞ー母音語幹‘खाना’：「食べる」

		直　説　法		条　件／仮　定　法		命令法
時　制	人称	単　数	複　数	単　数	複　数	
未　来	1	खाऊँगा	खाएँगे	खाऊँ	खाएँ	
	2	खाएगा	खाओगे, खाएँगे	खाए	खाओ, खाएँ	खा
	3	खाएगा	खाएँगे	खाए	खाएँ	
現　在	1	खाता हूँ	खाते हैं	खाता	खाते	खाओ
	2	खाता है	खाते हो／हैं	खाता	खाते	
	3	खाता है	खाते हैं	खाता	खाते	खाइए
過　去	男性	खाया	खाए	खाया + होता	खाए + होते	
						खाइएगा
	女性	खाई	खाईं	खाई + होती	खाईं + होतीं	

B-4）他動詞－子音語幹‘कहना’：「言う」

		直説法		条件／仮定法		命令法
時制	人称	単数	複数	単数	複数	
未来	1	कहूँगा	कहेंगे	कहूँ	कहें	
	2	कहेगा	कहोगे, कहेंगे	कहे	कहो, कहें	कह
	3	कहेगा	कहेंगे	कहे	कहें	
現在	1	कहता हूँ	कहते हैं	कहता	कहते	कहो
	2	कहता है	कहते हो／हैं	कहता	कहते	
	3	कहता है	कहते हैं	कहता	कहते	कहिए
	男性	कहा	कहे	कहा + होता	कहे + होते	
過去						कहिएगा
	女性	कही	कहीं	कही + होती	कही + होतीं	

ポイント

1) B-1, B-2は自動詞、B-3, B-4は他動詞の例。
2) 他動詞以外では女性形は省略。上記4.1を参照。
3) 他動詞の過去形は完了分詞（非定形）と同じ形。
4) 他動詞の過去形は完了分詞（非定形）は、人称による変化はしなくり、性・数のみで変化を起こす。

C）不規則変化動詞

C-1）自動詞－母音語幹‘जाना’：「行く」

		直説法		条件／仮定法		命令法
時制	人称	単数	複数	単数	複数	
未来	1	जाऊँगा	जाएँगे	जाऊँ	जाएँ	
	2	जाएगा	जाओगे, जाएँगे	जाए	जाओ, जाएँ	जा
	3	जाएगा	जाएँगे	जाए	जाएँ	
現在	1	जाता हूँ	जाते हैं	जाता	जाते	जाओ
	2	जाता है	जाते हो／हैं	जाता	जाते	
	3	जाता है	जाते हैं	जाता	जाते	जाइए
過去	1	गया	गए	गया + होता	गए + होते	
	2	गया	गए	गया + होता	गए + होते	जाइएगा
	3	गया	गए	गया + होता	गए + होते	

C-2）他動詞－母音語幹‘पीना’：「飲む」

		直　説　法		条　件／仮　定　法		命令法
時　制	人称	単　数	複　数	単　数	複　数	
未　来	1	पिऊँगा	पिएँगे	पिऊँ	पिएँ	पी
	2	पिएगा	पिओगे, पिएँगे	पिए	पियो, पिएँ	
	3	पिएगा	पिएँगे	पिए	पिएँ	
現　在	1	पीता हूँ	पीते हैं	पीता	पीते	पियो
	2	पीता है	पीते हो／हैं	पीता	पीते	
	3	पीता है	पीते हैं	पीता	पीते	पीजिए
過　去	男性	पिया	पिए	पिया + होता	पिए + होते	पीजिएगा
	女性	पी	पीं	पी + होती	पी + होतीं	

C-3）他動詞－母音語幹‘छूना’：「触れる」

		直　説　法		条　件／仮　定　法		命令法
時　制	人称	単　数	複　数	単　数	複　数	
未　来	1	छूँगा	छुएँगे	छूँ	छुएँ	छू
	2	छुएगा	छुओगे, छुएँगे	छुए	छुओ, छुएँ	
	3	छुएगा	छुएँगे	छुए	छुएँ	
現　在	1	छूता हूँ	छूते हैं	छूता	छूते	छुओ
	2	छूता है	छूते हो／हैं	छूता	छूते	
	3	छूता है	छूते हैं	छूता	छूते	छुइए
過　去	男性	छुआ	छुए	छुआ + होता	छुए + होते	छुइएगा
	女性	छुई	छुईं	छुई + होती	छुई + होतीं	

C-4）他動詞－母音語幹‘देना’：「与える」

		直　説　法		条　件／仮　定　法		命令法
時　制	人称	単　数	複　数	単　数	複　数	
未　来	1	दूँगा	देंगे	दूँ	दें	दे
	2	देगा	दोगे, देंगे	दे	दो, दें	
	3	देगा	देंगे	दे	दें	
現　在	1	देता हूँ	देते हैं	देता	देते	दो
	2	देता है	देते हो／हैं	देता	देते	
	3	देता है	देते हैं	देता	देते	दीजिए
過　去	男性	दिया	दिए	दिया + होता	दिए + होते	दीजिएगा
	女性	दी	दीं	दी + होती	दी + होतीं	

C-5）他動詞－母音語幹'लेना'：「取る」

		直　説　法		条　件／仮　定　法		命令法
時　制	人称	単　数	複　数	単　数	複　数	
未　来	1	लूँगा	लेंगे	लूँ	लें	
	2	लेगा	लोगे, लेंगे	ले	लो, लें	ले
	3	लेगा	लेंगे	ले	लें	
現　在	1	लेता हूँ	लेते हैं	लेता	लेते	लो
	2	लेता है	लेते हो ／ हैं	लेता	लेते	
	3	लेता है	लेते हैं	लेता	लेते	लीजिए
過　去	男性	लिया	लिए	लिया + होता	लिए + होते	
						लीजिएगा
	女性	ली	लीं	ली + होती	ली + होतीं	

C-6）他動詞－子音語幹'करना'：「する」

		直　説　法		条　件／仮　定　法		命令法
時　制	人称	単　数	複　数	単　数	複　数	
未　来	1	करूँगा	करेंगे	करूँ	करें	
	2	करेगा	करोगे, करेंगे	करे	करो, करें	कर
	3	करेगा	करेंगे	करे	करें	
現　在	1	करता हूँ	करते हैं	करता	करते	करो
	2	करता है	करते हो ／ हैं	करता	करते	
	3	करता है	करते हैं	करता	करते	कीजिए
過　去	男性	किया	किए	किया + होता	किए + होते	
						कीजिएगा
	女性	की	कीं	की + होती	की + होतीं	

ポイント

1) C-1のみ自動詞、残りはすべて他動詞の例。
2) B 同様、他動詞以外では女性形は省略。
3) B 同様、他動詞の過去形は完了分詞（非定形）と同じ形。
4) B 同様、他動詞の過去形は完了分詞（非定形）は、人称による変化はしなくり、性・数のみで変化を起こす。
5) 過去時制（完了分詞）では、長母音 -ऊ 語幹は短母音の -उ 語幹に交替する。
6) 過去時制（完了分詞）では、長母音 -ई, -ए 語幹は、短母音 -इ に交替する。過去時制（完了分詞）の女性形の場合は同化を起こす。
   例）पी ＞ पि- ＋ -ई ＝ पी
7) 語幹 कर も、過去時制（完了分詞）では短母音'-इ'になる。

4.3　動詞の派生形と自動詞、他動詞

4.3.1　ヒンディー語の動詞派生形［他動化接辞‘-ā’と使役接辞‘-vā’（しばしば‘-lā’））］

生産（派生）型				語彙化型			
自動詞	他動詞	他動化接辞	使役接辞	自動詞	他動詞	他動化接辞	使役接辞
—	—	—	—	आना	—	—	(भिजवाना)
—	—	—	—	जाना	—	—	(भिजवाना)
दौड़ना	—	दौड़ाना	दौड़वाना	बजना	बजाना	(←)	बजवाना
हँसना	—	हँसाना	हँसवाना	लगना	लगाना	(←)	लगवाना
पहुँचना	—	पहुँचाना	पहुँचवाना	बनना	बनाना	(←)	बनवाना
रोना	—	रुलाना	रुलवाना	चलना	चलाना	(←)	चलवाना
सोना	—	सुलाना	सुलवाना	पकना	पकाना	(←)	पकवाना
—	—	—	—	उठना	उठाना	(←)	उठवाना
—	—	—	—	समझना	समझाना	(←)	समझवाना
				दीखना (दिखना)	देखना	दिखाना	दिखवाना[a]
				बिकना	बेचना	(बिकाना)	बिकवाना
				मरना	मारना	(मराना)	मरवाना
				उतरना	उतारना	(उतराना)	उतरवाना
				टूटना	तोड़ना	(तुड़ाना)	तुड़वाना
				खुलना	खोलना	(खुलाना)	खुलवाना
—	खाना	खिलाना	खिलवाना	—	पढ़ना	पढ़ाना	पढ़वाना
—	पीना	पिलाना	पिलवाना	—	सीखना	सिखाना	सिखवाना
—	देना	दिलाना	दिलवाना	—	बोलना	बुलाना	बुलवाना
—	लेना	なし	लिवाना, लिवा लाना				
—	भेजना	भिजाना	भिजवाना				
—	करना	कराना	करवाना				
				बदलना	बदलना	बदलाना	बदलवाना
				जीतना	जीतना	जिताना	जितवाना
				हारना	हारना	हराना	हरवाना

[a] दिखलाना もあり。

ポイント

1) 他動化接辞‘-ā’は自動詞を他動詞に、他動詞を人が介在しない、いわば半使役動詞にする。人等が介在する使役動詞は、使役接辞‘-vā’（ものによっては‘-lā’が出現する。दीखना (दिखना) を参照）を付ける。なお、基本的にこれらは付加すれば動詞を生産的に派生できるが、実際にその動詞形を使用しているかどうかは別であることに注意する必要がある。
2) 接辞は動詞の語幹に付くが、語幹自体が音韻変化を起こすものもある。
   सोना「寝る」＞ सुलाना「寝かす／寝かせる」＞ सुलवाना「寝かさせる」
3) 生産型は、自動詞または他動詞を起点として派生させたもの。
   दौड़ना「走る」＞ दौड़ाना「走らす／走らせる」＞ दौड़वाना「走らさせる」
   खाना「食べる」＞ खिलाना「食べさす／食べさせる」＞ खिलवाना「（人等を介して）食べさせる」
4) 生産型である करना「する」は、派生形 कराना「さす／させる」と करवाना「（人等を介して）させる」がある。前者は使役の行為者が明示されていない場合にしばしば使用される。また、使役接辞‘-vā’を使う場合、実際に動作を行う人は से で表す。例）हम नौकर से चाय बनवाते हैं।　「私たちは召使にチャーイを作らせる。」
5) 語彙化型に分類した आना「来る」と जाना「行く」には使役接辞を付けることができないが、別の語彙動詞 भेजना「送る」で代用させることができる。例)「人を送る」⇒「行かせる」、「人に人を送らせる」⇒「来させる」
6) 語彙化型には、①他動化接辞が付いたものが他動詞語彙になったもの、②自動詞、他動詞、他動化接辞、使役接辞の四種類がすべて存在するもの、③他動詞に他動化接辞が付いたものが語彙化したといえるもの、④自動詞と他動詞が同形で、それに他動化接辞、使役接辞が付くもの、の四種類ある。
   ① बजना「鳴る」＞ बजाना「鳴らす」＞ बजवाना「（鳴らさす）／鳴らさせる」
   ② दीखना ／ दिखना「見える」＞ देखना「見る」＞ दिखाना「見せる」＞ दिखलाना「見させる」
   ③ पढ़ना「読む、学ぶ」＞ पढ़ाना「教える」(←「読ます」からの語彙化」＞ पढ़वाना「（人に）読まさせる／教えさせる」
   ④ बदलना「変わる」＞ बदलना「変える」＞ बदलाना「変えさす／変えさせる」＞ बदलवाना「（人等を介して）変えさせる」
7) 語彙化型の他動化接辞が付いたもの（बिकाना, मराना, उतराना 等）は、実際使用されることは稀である。

4.3.2　自動詞と他動詞の単純過去（通常の主語表示と能格 ने による表示）

自動詞

主語　　（目的語なし）　　動詞（完了分詞）

例）मैं पिछले साल भारत गया।　「僕は去年インドへ行った。」

他動詞

主語＋ ने　　目的語　　動詞（完了分詞）

例１）वहाँ मैंने एक बहुत सुंदर साड़ी खरीदी।　「そこで僕 (私) は、とてもきれいなサリーを一枚買った。」

例２）सीता ने अपने भाई को पीटा।　「シーターは、自分の弟を叩いた。」

ポイント

1) 自動詞の例のように、動詞の完了形は、従来どおり動作主である主語に一致する。例：मैं → गया (男性・単数形)
2) 例１のように、動詞の完了分詞は目的語（文法上の主語）に一致する。例１では साड़ी (女性・単数形) → ख़रीदी (女性・単数形)
3) 例２のように、目的語（文法上の主語）に後置詞 को（अपने भाई को）が付いた時点で、文法上の主語になる資格を失う。このような場合、文法上の主語不在となり、動詞の完了分詞は常に**男性・単数形**（पीटा (男性・単数形)）を使用する。

4.3.3　動詞の複合時制一般

1. 未完了分詞＋コピュラ

コピュラ未来形　　推定、推量を表す。

राम गीता से प्यार करता होगा।「ラームはギータを愛しているのだろう。」

コピュラ現在形　　一般的な現在時制を表す。日本語の「ーて・いる」相当。

राम गीता से प्यार करता है।「ラームはギータを愛している。」

コピュラ過去形　　一般的な過去時制。日本語の「ーて・いた」相当。

राम गीता से प्यार करता था।「ラームはギータを愛していた。」

2. 完了分詞＋コピュラ

コピュラ未来形　　推定、推量を表す。

आपने वह फ़िल्म ज़रूर देखी होगी।「あなたはあの映画を間違いなく見たことでしょう。」
राम ख़ुश हुआ होगा।「ラームは喜んだだろう。」

コピュラ現在形　　発話時点で行為、事柄が完了状態であること表す。

क्या आपने आमिर ख़ान की कोई फ़िल्म देखी है?「アーミル・カーンの映画を何か見たことありますか。」

コピュラ過去形　　発話時より過去のある時点で行為、事柄が完了状態であったことを表す。

मैंने वह फ़िल्म बचपन में देखी थी।「私はあの映画を子供の頃見た（すでに見ていた）。」

3. 語幹＋ रहा（＜ रहना）＋コピュラ

コピュラ未来形　　進行中の行為、事柄の推量、推定。

वह क्या कर रहा होगा।「あいつは何をしているところだろうか。」

コピュラ現在形　　現在進行中の行為、事柄を表す。

वह फ़िल्म देख रहा है।「あいつは（今）映画を見ている。」

コピュラ過去形　過去に進行中の行為、事柄を表す。

वह फ़िल्म देख रहा था।「あいつは（あの時ずっと）映画を見ていた。」

ポイント

1) 未完了分詞あるいは完了分詞に付くコピュラ未来形は、日本語の「している・だろう」の「だろう」相当。
2) 完了分詞＋コピュラ現在形は、日本語の「ーて・いる／ある」相当で、結果や経験の意を表すこともある。
3) 完了分詞＋コピュラ過去形は、日本語の「ーて・いた／あった」相当で、上同様結果や経験の意を表すこともある。

4.3.4　文と文の並列表現「ーて（から）、…。」(動詞語幹＋接続分詞‘-कर’…)

例1）हाथ धोकर खाना खाओ।　「手を洗って、ごはんを食べなさい。」

例2）ये लोग यमुना में स्नान करके लौट आए।　「この人たちははヤムナー河で沐浴して戻って来た。」

ポイント

1) 接続分詞 -कर は、करना からの派生接辞の一種と考えられる。
2) この -कर は、口語では -के で発音されることが多い。例1）धोकर → धोके
3) 接続する動詞語幹が कर「する」の場合は、करके「して」のように -के となる。
4) 接続分詞を使用せず、動詞語幹で連用形の中止法のごとく使用されることもある。例）देखकर→देख「見て（、）」→「見（、）」

4.3.5　名詞／形容詞＋ करना：スル動詞／ होना：ナル動詞

名詞＋ करना：スル動詞／ होना：ナル動詞

例1）मेरी बेटी ने अजय के साथ शादी की।　「私の娘はアジャイと結婚した。」(スル動詞型)

例2）मेरी बेटी की शादी अजय के साथ हुई।　「私の娘はアジャイと結婚した。」(ナル動詞型)

形容詞＋ करना：スル動詞／ होना：ナル動詞

例3）मेरी माँ ने दरवाज़ा बंद किया।　「私の母は戸を閉めた。」(スル動詞型)

例4）दरवाज़ा बंद हो गया।　「戸が閉まった。」(ナル動詞型)

ポイント

1) 例1は、日本語の「漢語名詞（二字熟語）＋する」相当の表現である。この表現は、頻繁に使用される。例）पढ़ाई करना（＝ पढ़ना）「勉強する」、प्यार करना「愛する」、इंतज़ार करना「待つこと＋する＝待つ」等。
2) 例2は例1のナル動詞型。「〜との結婚がなる（起こる）」が原義。
3) 例3は बंद「閉まった状態の」という形容詞と करना の組み合わせで、「閉まった状態に＋する」＝「閉める」になる。
4) 例4は、बंद と होना の組み合わせで、「閉まった状態に＋する」＝「閉まる」になる。これも使用頻度が比較的高い表現である。

4.4　命令、依頼、禁止の表現

ヒンディー語で命令、依頼を表す場合、命令法の形（4.2のパラダイムを参照）あるいは動詞の不定詞の形を通常使う。禁止表現については、禁止を表す否定辞 न または मत を命令形や不定詞と併せて使用する。

4.4.1　命令法の形式を用いた命令、依頼の表現

以下、動詞 बोलना「話す」を例に命令形、依頼形の作り方と用法について示す。

बोलना「話す」

２人称代名詞と命令形の対応		
２人称	形式の対応	説　明
आप	बोलिए	語根（この場合 बोल）に -इए 語尾を付けると、一般的に丁寧な命令になる。
आप	बोलिएगा	上の -इए 形にさらに -गा 語尾を付けると、「―ください・ませんか」のような依頼になる。
(आप)	(बोलो)	距離を保ちながらも若干親しさが増した場合、आप に、以下で使用される -ओ 語尾の命令形を使用できる。
तुम	बोलो	語根に -ओ 語尾を付けると、तुम（家族や友達のような親しい間柄で使用される）に対応した命令になる。
तू	बोल	語根のままの場合、तू に対応した命令になる。この तू は、तुम よりもさらに親密な間柄（神様も含む）、もしくは身分・力関係において自分より低い者・弱い者に対して使用される。

4.4.2　不定詞（-ना 語尾）による命令表現

例１）आज मेरे घर आना।「今日、うちに来て／来るように／来ること。」
例２）यहाँ सिग्रेट मत पीना।「ここでタバコを吸わないで／吸わないように／吸わないこと！」
例３）यहाँ सिग्रेट न पीना।「ここでタバコを吸わないで／吸わないように／吸わないこと。」

ポイント

1) 通常、日本語の「―て（で）」あるいは「するように」、「すること」の意味合いで使用される。
2) この用法では、不定詞が語形変化することはない。

4.4.3 禁止表現

例１）यहाँ सिग्रेट न पीजिए।「ここでタバコを吸わないでください。」

例２）यहाँ सिग्रेट मत पियो।「ここでタバコを吸わないで。」

例３）यहाँ सिग्रेट मत पी！「ここでタバコを吸うな！」

例４）यहाँ सिग्रेट मत पीना।「ここでタバコを吸わないで／吸わないように／吸わないこと。」

ポイント

1) 否定辞 न は丁寧な柔らかい禁止を表し、मत は禁止命令を表す。
2) 例１については禁止の度合いが強ければ मत を使用する。
3) 例２については禁止の度合いが低ければ न を使用することも可。
4) 例４についても禁止の度合いが低ければ न を使用することも可。

5　与格主語構文

与格主語構文は、日本語でいえば［人に　○○が　述語］の構文をいう。この場合の述語にはコピュラ、自動詞（語彙動詞、複合述語*3）が使用される。これは、ヒンディー語では［主語　動詞］のパターン以上に、使用頻度が高い構文である。

5.1　［人］को＋［X（名詞）］＋［Y（コピュラ）］

5.1.1　X＝感情を表す名詞

例１）मुझे ख़ुशी है।「私に嬉しさがある。」⇒「私は嬉しい。」
例２）उस को दुःख है।「彼 (女) に辛さがある。」⇒「彼 (女) は辛いのだ。」

解説

なお、Yにナル動詞 होना を使うと、「喜ぶ」、「辛くなる」の動作動詞になる。
例）मुझे ख़ुशी हुई।「私は喜んだ。」
これらは「主語＋形容詞＋コピュラ／コピュラ動詞」でも表現できる。以下を参照。
例）मैं ख़ुश हूँ।　「私は嬉しい。」
例）मैं ख़ुश हुआ।　「僕は喜んだ。」

5.1.2　X＝体調､病気に関わる名詞

例１）मुझे पेट में दर्द है।「私にお腹に痛みがある。」⇒「私はお腹が痛い。」
例２）उस को तेज़ बुख़ार है।「彼 (女) は高い熱がある。」
例３）उस को ज़ुकाम है।「彼 (女) は風邪を引いている。」

解説

例２については、Yに आना「来る」を入れて「熱が出る」の意を表す。他にもこの種の名詞はたくさんあるが、ここでは割愛する。通常、Yには होना か आना（もしくは両方）が使用される。

5.1.3　X＝その他抽象名詞

例１）क्या आप को कोई दिक़्क़त है?　「何か困ったことがありますか。」
例２）मुझे ऐसी उम्मीद है।　「私にはそのような望みがある。」⇒「私はそう望んでいる。」

*3 名詞／形容詞／副詞＋軽動詞（करना, होना, लेना, देना 等）の複合体を指す。

解説

この構文を取る代表的な抽象名詞として、困ったことに関連する दिक़्क़त、तकलीफ़、願望の उम्मीद、आशा が挙げられる。

5.2 ［人］को＋［X（名詞）］＋［Y（動詞述語）］

5.2.1 Y＝चाहिए（不変化）＜चाहना：欲しい、必要

例１）मेरे बेटे को चाय चाहिए।「うちの息子はチャーイが欲しい。」

例２）मुझे आम और अमरूद चाहिए।「私はマンゴーとグアバが欲しい。」

5.2.2 Y＝मिलना：（人に物が）手に入る、（人や生き物に）出会う

例１）अच्छी साड़ी बाज़ार में मिलती है।「良いサリーはバーザールで手に入ります／見つかります。」

例２）कल मुझे एक लड़का मिला।「昨日私はある男の子に出会った。」

5.2.3 Y＝लगना：（人に何かが）感じられる、（人に時間が）かかる

例１）मुझे प्यास लगी है।　「私は渇きが感じられている。」⇒「私は喉が渇いている。」

例２）मुझे गर्मी लग रही है।　「私は暑く感じられる。」⇒「私は暑い。」

例３）मुझे किताब लिखने में एक साल लगेगा।　「私は本を書くのに一年かかるだろう。」

5.2.4 Y＝आना：（人に何かが）来る⇒できる、〜になる、出る、など

例１）मुझे अँग्रेज़ी आती है।「私に英語が来る。」⇒「私は英語ができる。」

例２）तेज़ ठंड लगकर बुख़ार आता है।　「ひどい寒気が感じられ熱が来る」⇒「ひどい寒気がして熱が出る。」

डेंगू के लक्षण, बचाव के उपाय और खान पान
http://www.scienceworld.in/dengue-lakshan-bachav-ke-upay/

例３）मुझे नींद आ रही है।　「私に眠気が来ている。」⇒「私は眠たくなっていきた。」

例４）मुझे राम पर गुस्सा आया।　「私にラームに怒りが来た。」⇒「私はラームに腹が立った。」

5.2.5 Y＝दीखना, दिखना または दिखाई देना ／ पड़ना（複合形）：（人に物や人が）見える

例１）यहाँ से पहाड़ दीखता है।　「ここから山が見える。」

例２）यहाँ से पहाड़ दिखाई देता है।　「ここから山が見える。」

例３）तुम्हें क्या दिखाई पड़ता है?　「あんたは何が見える。」

5.2.6　Y＝सुनाई देना ／ पड़ना（複合形）：(人に音や声が）聞こえる

例１）उस के कमरे से ठहाके की आवाज़ सुनाई देती है।「彼の部屋から（いつも）大笑いする声が聞こえる。」

例２）उस के कमरे से ठहाके की आवाज़ सुनाई पड़ती है।「同上」

解説

1) 5.2.3については गर्मी「暑さ」の他、ठंड, सर्दी「寒さ」、प्यास「喉の渇き」、भूख「空腹」等が入れ替え可である。なお、बुख़ार「熱」、मतली, उबकाई, उलटी「吐き気」の場合は、動詞は'आना'になる。
2) 5.2.2、5.2.4、5.2.5の「手に入る」、「見える」、「聞こえる」は、一般論を述べる場合、主語の人を明示する必要はない。
3) 5.2.4の दिखाई देना ／ पड़ना は「見ること＋与える／生じる」＝「見える」の複合述語である。別の表現として नज़र आना「視線＋来る」＝「見える」も使用される。
4) 5.2.5の सुनाई देना ／ पड़ना も、5.2.4の「見える」の複合形と同じ要領で形成されている。これは複合述語となり、本来なら次節で扱うところだが、便宜上ここで挙げる。

5.3　［人］को＋［X（名詞）］＋［Y（複合述語）］

5.3.1　Y＝पसंद ［M(男)］「好み」＋コピュラ：好きだ、好みだ

例１）मुझे यह जगह पसंद है।「私はこの場所が好きだ。」

なお、Ｙに動詞 आना「来る」を使用すると、「気に入る」の意に変わる。

例２）मुझे यह जगह पसंद आई।「私はこの場所が気に入った。」

5.3.2　Y＝पता ［M(男)］「情報」＋コピュラ：知っている

例１）मुझे सब कुछ पता है।「私は、何もかも知って／分かっている。」

なお、Ｙに動詞 चलना「進む」लगना「付く」を使用すると、「分かる」という意味を表す。

例２）मुझे यह पता चला।「私は、そのことが分かった。」

5.3.3　Y＝याद ［F(女)］「記憶」＋コピュラ：覚えている

例１）मुझे यह जगह याद है।「私にこの場所（が）記憶にある。」⇒「私、この場所を覚えている。」

なお、Ｙに動詞 आना「来る」を使用すると、「思い出す」に意味が変わる。

例２）मुझे यह जगह याद आई।「私はこの場所記憶が来た。」⇒「私はこの場所を思い出した。」

5.3.4 Y＝मालूम ［Adj(形)］「知った／分かった状態の」＋コピュラ：知っている

例１）मुझे आप का नाम मालूम है।「私はあなたの名前を知っています。」

なお、ナル動詞にすれば「知る／分かる」になる。ちなみに、मालूम の同義語は ज्ञात である。

例２）मुझे यह उचित मालूम हुआ।「私はこれが正しいと分かった。」

5.3.5 Y＝प्राप्त ［Adj(形)］「得られた状態の」＋コピュラ：得られている

例１）मुझे शांति प्राप्त है।　「私に平穏が得られた状態にある。」⇒「私は平穏です。」

なお、ナル動詞にすれば「（自然に）得る、手に入れる」になる。ちなみに、प्राप्त の同義語は उपलब्ध である。

例２）उन्हें ज्ञान प्राप्त हुआ।「彼らは知識を手に入れた。」

5.4 ［人］को＋［X（不定詞句）］＋［Y（コピュラ／ चाहिए ／ पड़ना）］

5.4.1 Y＝होना：コピュラ（命題Xが存在する）　⇒　［用法：予定、希望、願望］

自動詞

例１）मुझे दिल्ली जाना है।　「私はデリーへ行く／行くつもりだ／行きたい。」等

他動詞

例２）मुझे पैसा कमाना है।　「私はお金を稼ぐ／稼ぐつもりだ／稼ぎたい。」等
例３）आज मुझे कपड़े धोने हैं।　「今日私は服を洗う／洗うつもり／洗わなきゃ。」等
例４）मुझे साड़ी धोनी है।　「今日私はサリーを一枚洗う／洗うつもり／洗わなきゃ。」等
例５）मुझे साड़ियाँ धोनी हैं।　「今日私はサリーを洗う／洗うつもり／洗わなきゃ。」等

解説

不定詞句内に目的語が含まれる場合は、その目的語である名詞の性・数と不定詞の語尾 -ना が形容詞変化する。
例２）पैसा［M, sg］＝कमाना［M, sg］、例３）कपड़े［M, pl］＝धोने［M, pl］
例４）साड़ी［F, sg］＝धोनी［F, sg/pl］、例５）साड़ियाँ［F, pl］＝धोनी［F, sg/pl］
以下5.4.2、5.4.3でも同じルールが適用される。

5.4.2　Y＝चाहिए:必要（命題Xが必要とされている）　⇒　［用法:義務、責務］

自動詞

例１）मुझे आगे बढ़ना चाहिए।　「私は先に進まなければならない／進むべきだ／進まなきゃ。」等

他動詞

例２）मुझे आज साड़ी खरीदनी चाहिए।　「私は今日サリーを買わなければならない／買うべきだ／買わなきゃ。」等

5.4.3　Y＝ पड़ना:ある／生じる（命題Xが否応なしに生じる）　⇒　［用法:強制］

自動詞

例１）मुझे कल फिर से वहाँ जाना पड़ेगा।　「私は、明日、またあそこへ行かなければならない。」

他動詞

例２）मुझे कल खुद कपड़े धोने पड़े।　「私は昨日自分で服を洗わなければならなかった。」

6　助動詞と補助動詞

ヒンディー語で助動詞といえるのは、語幹に接続し可能を表す सकना と終了を चुकना である。後者は単独でも「終わる」という語彙動詞として使用されることもあるが、ほとんど使われることはない[*4]。

補助動詞は、語幹に接続するもの、不定詞斜格（-ने）形に接続するもの、未完了分詞、完了分詞に接続するものの四つがある。特に語幹に接続するものは実際は様々あり、中には語彙と化しているものもある。ここでは比較的生産的に付けることのできる代表的なものを挙げる。

6.1　語幹に接続する助動詞

6.1.1　सकना:「−れる／られる、−できる」

例１）मैं हिंदी बोल सकता हूँ।　「僕はヒンディー語を話せる。」
例２）क्या मैं जा सकता हूँ?　「僕、（出て）行ってもいいですか。」
例３）हाँ, जा सकते हो।　「ああ、（出て）行っていいよ。」

6.1.2　चुकना「終わる」⇒「−し終わる／（既に）−している」

例１）हम खाना खा चुके हैं।　「僕らはもう食事し終わったよ。」
例２）क्या आप दोनों मिल चुके हैं?　「二人とももう会い終わっているのか。」⇒「二人とももう会ったことあるのか。」

6.2　語幹＋補助動詞

ヒンディー語の補助動詞は生産的なものとそうでないものがある。以下では生産性の高いものから挙げていく。

6.2.1　पाना「得る」⇒「−できる／なんとか頑張って−する」

例１）क्या तुम यह काम अकेले कर पाओगे?　「おまえ、この仕事一人で（なんとか）できるのか。」
例２）मैं कल यह काम नहीं कर पाया।　「僕は昨日この仕事を（頑張ったけど）できなかった。」

解説

日本語の「−し得る」のような表現である。助動詞の सकना とよく似た意味合いで使用される。

[*4] 現代では ख़त्म होना あるいは समाप्त होना の複合述語を使用する傾向にある。

6.2.2 जाना「行く」⇒「ーて・しまう、とうとう／やっと…した」等

例１）वह आ गया। 「やつが（やっと）来たぞ。」

例２）शाम होते ही सब्ज़ी-मंडी लग जाती है। 「夕方になるや否や野菜市が立つ。」

例３）सब कुछ ठीक हो जाएगा। 「すべて正常になる。」⇒「すべてうまく行くよ。」

例４）एक शेर उस आदमी को ज़िंदा खा गया। 「一匹の虎がその男を生きたまま食べてしまった。」

解説

जाना は主に自動詞に接続し、完了や完遂の意味を添加する。この जाना が補助動詞として付いていない場合は、単に事実を叙述した文になる。

例１’）वह यहाँ आया। 「彼はここに来た。」

例２’）सब्ज़ी-मंडी कहाँ लगती है? 「野菜市はどこに立つのか。」

また、例３は形容詞述語の文だが、コピュラに जाना が付くことで動性が加わり、ナル動詞へ変化する。例４は他動詞が使用されている例だが、事柄の完了と同時に遺憾の意も表しているものと考えられる。

6.2.3 देना「与える」⇒「ーて・しまう、きちんとーする、もうーした、ーて・あげる」等

例１）मैं आप को कुछ ज़रूरी बात बता देता हूँ। 「あなたに少し大事な話をします。」

例２）क्या तुमने उन को जवाब दे दिया? 「お前はあの方にもう返事をしたか。」

解説

देना を補助動詞として使用する場合、जाना に類似した完了、完遂の意を表すが、その行為が話者から外界に向かう意味合いを含む。主に他動詞に使われるが、हँसना「笑う」रोना「泣く」のような自動詞にも付加される。また、日本語の授受動詞のように、相手の利益や不利益を想定した「ーて・やる」の意味合いを添加することもある。

6.2.4 लेना「取る」⇒「ーて・しまう、もう／とうとう…した、きちんと／なんとか…する」等

例１）मैं बीफ़ भी खा लेता हूँ। 「僕は牛肉も（なんとか）食べられるよ。」

例２）राम ने बदला ले लिया। 「ラーマは（ちゃんと、とうとう、等）復讐をした。」

解説

लेना を補助動詞として使用する場合も、जाना や देना に類似した完了、完遂の意を表すが、行為に自ら能動的に取りかかる意味合いを含む。主に他動詞に付加されるが、देना と同様、हँसना「笑う」रोना「泣く」のような自動詞にも付加される。また、日本語の「ーて・みる」のように、状況把握のために行為を試行する意味合いを添加することもある。

6.2.5 उठना「（起き）上がる」⇒「ーだす、ーあがる」等

例１）सहसा कोई बोल उठा। 「急に誰かが話しだした。」⇒「急に誰かが声を上げた。」

例２）वर्षा के आते ही मोर नाच उठते हैं। 「雨季が来るや否や、孔雀は踊りだす。」

例３）अचानक कार धू-धू कर जल उठी। 「いきなり車がゴーゴーと燃えだした。」

解説

उठना が補助動詞として使用されると、行為、動作が突発的に始まる意味合いを添加する。

6.2.6 बैठना「座る、下がる」⇒「（間違って、不本意に）ーて・しまう」等

例１）वह होश खो बैठी। 「彼女は気を失ってしまった。」
例２）मैं बेवफ़ा से वफ़ा की उम्मीद कर बैठा। 「僕は不実な奴に誠実さを望んでしまった。」
例３）तुम ज़रा जागो！ नींद में सब कुछ गँवा बैठोगे। 「ちょっと起きろ。寝ているうちに何もかも失くしてしまうぞ。」

解説

बैठना が補助動詞として使用されると、行為、動作を誤って、あるいは悪い方向に行うという意味合いを添加する。

6.2.7 डालना「入れる」⇒「一気に／ドンと／とことんーて・しまう」等

例１）दवा कड़वी नहीं है, एक साँस में पी डालो। 「薬は苦くない。一気に飲んでしまえ。」
例２）एक लड़के ने अपनी गर्लफ्रेंड को पीट डाला। 「ある男が自分のカノジョをひどく（とことん）殴った。」
例３）यूपी सरकार ने अंग्रेज़ों के ३९ कानूनों को बदल डाला।
「ウッタル・プラデーシュ州政府は大英帝国時代の39の法律を（一気に）変えた。」

फ़रवरी ५, २०१६, राष्ट्रीय ख़बर

https://www.rashtriyakhabar.com/up-government-changed-the-laws-of-the-british-39/12887/

解説

डालना が補助動詞として使用されると、行為、動作を激しい様で、あるいはどんと一気に行う意味合いを添加する。मारना「殴る」にこの補助動詞が付くと、転じて「殺す」の意味として振る舞う。

6.2.8 पड़ना「生じる」⇒「どっと／急にーする、ーだす」等

例１）वह हँस पड़ा। 「彼はどっと（急に）笑った。」
例２）गीता टी वी पर ख़बरें देखकर रो पड़ी। 「ギーターはテレビでニュースを見て泣きだした。」
例３）हमारे इलाक़े में भी स्वच्छता अभियान चल पड़ा। 「うちの地区でも清掃運動が始まった。」

解説

पड़ना が補助動詞として使用されると、行為、動作が急に始まる意味合いを添加する。चलना「動く、歩く」にこの補助動詞が付くと、転じて「出発する、発つ」の意味で使用される。

6.2.9 रखना「置く」⇒「ーて・おく、予め…する、ーて・いる／ある」等

例１）मैंने तो कुरता पाजामा पहन रखा है। 「俺は（ちゃんと）クルタとパジャマを着ているぞ。」
例２）उसने यह बात किसी से छिपा नहीं रखी थी। 「彼はこのことを誰にも（予め）隠してはいなかった。」

例３）उन अमीरों ने कर देने से बचने के लिए अपना काला धन विदेशी बैंकों में जमा कर रखा है।
「あの金持ちたちは、税金支払いを逃れるために隠し財産を外国の銀行に預けている。」

解説

रखना が補助動詞として使用されると、日本語の「ーて・おく」のような意味合いを添加する。例えば、बना कर रखना「作っておく」のように接続分詞がしばしば間に挿入されることがある。

6.3　不定詞（斜格 -ने 形）に接続する補助動詞

6.3.1　देना「与える」⇒「ーさせて・やる／あげる」

例１）हम बच्चों को बाहर निकलने देते हैं।　「私たちは子供たちを外出させてあげる」
例２）भगवान के लिए मुझे जाने दो！　「お願いだから行かせて！」
例３）वह अपनी पत्नी को अस्पताल तक नहीं जाने देता था।　「彼は自分の妻を病院にさえ行かせなかった。」

解説

許可を与える者が主格（主語）、不定詞の部分に対する行為者は与格 को で表示される。

6.3.2　पाना「得る」⇒「できる、ーさせて・もらう」

例１）अभी वह दूर न जाने पाया होगा...　「まだ奴は遠くに行かせてもらっていないだろう。」⇒「行っていないだろう。」

राम गुप्ता, *कम्बोज की पद्मिनी*
http://hindinest.com/kahani/2005/NS32.htm

例２）हाते के बाहर भी न निकलने पाया था कि...　「敷地の外にも出られていないのに…」

प्रेमचंद, *गबन*
http://hindisamay.com/contentDetail.aspx?id=226&pageno=1

解説

語幹接続で既に挙げた पाना だが、不定詞斜格形に接続すると「させて・もらえる」の意味合いが内包された、「できる」、「できない」になる。なお、語幹接続に比べ、かなり使用頻度は低い。

6.3.3　लगना「（くっ）付く」⇒「ーし始める／出す、ーしにかかる」

例１）बारिश होने लगी।　「雨が降り始めた。」
例２）रात में सोते समय बच्चे अचानक रोने लगते हैं।　「夜寝る時、子供は急に泣き始める。」

解説

事柄や行為の開始を表す場合、これとは別に शुरू ＋ होना「なる」／ करना「する」の複合述語がある。

6.4　未完了分詞、完了分詞に接続する補助動詞

6.4.1　रहना「いる、続く」⇒「－続ける、よく／ずっと－する」

未完了分詞

例１）वह अक्सर भारत आता रहता है।　「彼はよくインドに来る。」
例２）मेरी माँ परेशानी की मुद्रा में मुझे देखती रहती है।　「私の母はよく心配そうな様子で私を見ます。」

完了分詞

例１）आप लोग अपनी जगह बैठे रहिए।　「あなた方はそれぞれおられるところに座っていてください。」
例２）गर्मी के मौसम में हम पानी में लेटे रहते हैं।　「夏には、私たちは水の中に浸かって（横になって）います。」

解説
未完了分詞、完了分詞に रहना が接続する場合、分詞で表す行為が継続、持続することを表す。

6.4.2　जाना「行く」⇒「－続ける、どんどん－する、ずっと－する」

未完了分詞

例１）आइसक्रीम खाते जाओ।　「アイスクリームをどんどん食べろ。」
例２）वह बिना सोचे-समझे शब्द बोलता जाता है।　「あいつはよく考えもせず言葉をずっとしゃべり続けている。」

完了分詞

例）उत्तर भारत में हिंदी बोली जाती है।　「北インドではヒンディー語が話されている。」

解説
　जाना が未完了分詞に接続する場合、日本語の「どんどん、ずっと」のような副詞の意味合いを表す。一方、完了分詞に接続する場合、通常受身表現になる。詳細は後章で別途解説する。

7　条件・仮定、受身

7.1　条件・仮定の表現

ヒンディー語の条件、仮定を表す表現には「もし」に相当する अगर もしくは यदि を条件節の始めに付けるが、なくてもよい。節内には様々な時制の動詞形は使用される。仮定が反実仮想の場合は、現在分詞を述語動詞に使用する。条件、仮定についての動詞の活用は4.2を参照のこと。

7.1.1　条件

例1）अगर वह आए तो मैं नहीं आऊँगा।　「もし彼（彼女）が来るならば、僕は来ない。」

例2）अगर वह आएगा तो मैं नहीं आऊँगा।　「もし彼が来るのなら、僕は来ない。」

例3）अगर कोई कमरे में सो रहा हो तो उसे मत जगाओ।　「もし誰か部屋で寝ているのなら、起こすな。」

例4）यदि आप १०वीं पास हैं तो आप के लिए एक सुनहरा अवसर सामने आया है।

「もしあなたが10年生を合格しているのなら、あなたには素晴らしい機会が目の前にあります。」

पत्रिका
http://www.patrika.com/news/employee-corner/many-vacancies-for-10th-pass-1150944/

例5）यदि बिहार में भाजपा की सरकार बनती है तो इसका सीधा असर बंगाल और यूपी में होगा...

「もしビハール州で BJP 政権ができるのなら、西ベンガル州やウッタル・プラデーシュ州に直接影響があるだろう。」

例6）यदि बिहार में भाजपा आई तो यूपी और बंगला पर ये पड़ेगा असर（見出し用）

「もしビハール州に BJP が来たら（政権ができたら）、ウッタル・プラデーシュ州と西ベンガル州にこの影響が及ぶだろう。」

IBN Khabar
http://khabar.ibnlive.com/news/politics/bihar-assembly-election-2015-64-424859.html

解説

例１、例２が条件・仮定法の未来形を使用したもので前者が後者に比べて実現の可能性の低いものである。例３は「寝ていれば」の「いる」に当たるコピュラが条件・仮定法の未来形になったものである。　例４、例５は直説法の現在時制を使用したものだが、この場合は「〜のなら…」あるいは「〜すると…」のような条件というより因果関係を表すものになる。例４と同じ出典記事の見出しである例６には直説法の過去時制が使用されているが、これは「ーたら」のように仮定条件を表すと考えられる。

7.1.2　仮定（反実仮想）

例1）अगर मैं छात्र होता तो ज़्यादा अच्छा होता।　「学生だったらもっとよかったのに。」

例2）अगर आज यह भूकंप आया होता तो दस लाख लोगों की मौत हुई होती।

「もし今日この地震が来ていたら、百万の人が亡くなっていただろう。」

आज तक
http://aajtak.intoday.in/education/story/how-much-we-are-ready-for-earthquake-1-810741.html

解説

仮定が反実仮想の場合は、条件節と主文ともに述語動詞を未完了分詞で止める。例２のように特に過去のことに言及する場合は、文末をコピュラの未完了分詞で止める。

7.2　受身表現

ヒンディー語の受身表現には補助動詞 जाना を使用した複合受身（6.4.2参照）と、「切れる」、「捕まる」のように受身のような意味を持つ語彙動詞がある。ここではこれを中動的動詞と呼ぶ。また、ヒンディー語の複合受身は日本語の受身表現に似て動作主を明示しない一般的な受身、自発（尊敬もしくは丁寧さが含まれる）、可能の意味を表すことができる。可能の場合はその多くが否定の不可能で使用される。なお、動作主には से もしくは के द्वारा（または द्वारा のみ）を付ける。

7.2.1　複合受身

動作主　से（または के द्वारा）　＋　主語　＋　動詞（完了分詞）＋ जाना「行く」

他動詞（動作主あり）

例１）मीना से यह पत्र लिखा गया।　「ミーナーによってこの手紙は書かれた。」
例２）यह अध्ययन भारतीय प्रबंधन संस्थान, अहमदाबाद द्वारा आयोजित किया जाएगा।
「この研究はインド経営大学院アーメダバード校で行われる。」

सरकार
http://www.archive.india.gov.in/hindi/govt/empcorner.php?id=5

他動詞（動作主なし）

例３）भारत में बहुत-सी भाषाएँ बोली जाती हैं।　「インドではたくさんの言葉が話されている。」
例４）मेरी किताबें पढ़ी जाती हैं।　「私の本は読まれている。」
例５）कॉफ़ी दुनिया भर में पी जाती है।　「コーヒーは世界中で飲まれている。」

自動詞

例６）मुझ से नहीं रहा जाता।　「僕（私）はいてもたっても（じっとして）いられない。」
例７）मुझसे बेकार नहीं बैठा जाता।　「僕は無駄にじっとしていられない。」

अखिल विश्व गायत्री परिवार
http://hindi.awgp.org/gayatri/AWGP_Offers/Literature_Life_Transforming/Books_Articles/Panchkosh_jagran/

解説

例２のように के द्वारा の के はしばしば脱落する。例３、４、５は、不特定多数の人々が明示されない、一般論を述べる受身である。例６、７の自動詞の受身については、可能の意味が出てきやすくなる。ここで挙げているのは使用頻度の多い否定（不可能）の例のみである。

7.2.2　中動的動詞による受身

動作主　से（または के द्वारा）　＋　主語　＋　中動的動詞

例１）(मुझ से) यह पेड़ कट गया। 　「（私によって）この木は切れた。(← 切られた）」

例２）(मुझ से) गलती हुई। 　「（私によって）間違いが生じた。」⇒「（悪気なく）間違った。」

解説

例１は日本語の「切れる」vs.「切られる」の対立に似ている。前者が語彙型、後者が受身接辞型と同じと考えてよい。また、例２は「自分が間違ったことをした」の意に用いられるが、意図的ではないことが強調される。またこの例２は、6.2.2の補助動詞 जाना を使った表現も多々用いられる。例）मुझसे गलती हो गई। 　「間違ってしまった。」

7.2.3　受身の用法

受身

例１）ब्रिटन के लोगों द्वारा यूरोपी संघ से हटने का निर्णय लिया गया।
「英国の人々によって、EU から離脱する決定がなされた。」
例２）हमारे देश में ईमानदारी को सबसे अच्छी नीति माना जाता है।
「私たちの国では誠実さが最も良い道徳と考えられている。」

自発（尊敬）

例３）तो अब क्या किया जाए? 　「では、何がなされるのか。」⇒「ではこれからどうしたらいいのか。」
例４）खाना खाया जाए? 　「ご飯が食べられん。」⇒「ご飯を食べましょうか。」

可能

例５）मुझ से नहीं चला जाता। 　「私は（もう）歩けない。」
例６）पापा का पिटना मुझ से नहीं देखा गया। 　「僕はお父さんが殴られるのを見ていられなかった。」

मायापुरी
http://www.mayapurionline.com/exclusive-interview-of-tiger-shroff-in-hindi-by-shyam-sharma/

解説

例１、２は一般的な受身である。例３、４は、能動性を失くし自発性を高めることから勧誘、依頼を表すのに使われる。
例５、６は可能表現である。一般的に否定文つまり不可能を表す場合が多い。この表現は、能力的な可能を問う助動詞 सकना の場合と少し違い、心情的なものに起因した可能、不可能を問う場合に使用される。

8　強調構文

ヒンディー語で強調を表す場合、音声上の抑揚や語順の倒置によるものを除き、主に二つの方策がある。一つは小詞 भी、ही、तो を使うもの、もう一つは日本語の「のだ」文のようにコピュラを二重にするものである。前者について簡単に紹介したが、ここで改めてこの小詞の詳細な使い方を説明する。さらに後者のパターンについても紹介する。

8.1　小詞 भी、ही、तो による強調

8.1.1　भी（追加：日本語の係助詞「も」に相当）

(1) 名詞（主語＝後置詞なし）

例１）मैं भी चाय पीता हूँ।　「僕もチャーイを飲む。」
例２）वह भी चाय पीता है।　「あいつもチャーイを飲む。」

(2) 名詞（目的語＝後置詞なし）

例１）मैं चाय भी पीता हूँ।　「僕はチャーイも飲む。」
例２）वह चाय भी पीता है।　「あいつはチャーイも飲む。」

(3) 名詞（方向を表す斜格語＝後置詞なし）

例１）वे लोग हमारे घर भी आएँगे।　「あの人たちは私たちの家にも来る。」
例２）वह ओसाका भी जाएगा।　「あいつは大阪（へ）も行く。」

(4) 名詞（それ以外＝後置詞あり）

例１）बगीचे में भी एक कुत्ता है।　「庭にも犬が一匹いる。」
例２）हम बच्चों को भी सब कुछ बताते हैं।　「うちは子供たちにも何でも話します。」
例３）आप किसी भी समय यहाँ आ सकते हैं।
「あなたはいつでもここに来ることができます。」⇒「いつでもここに来てくれていいですよ。」

解説

例３の「いつでも」つまり「どんな時でも」に限らず、「どんな＋名詞（で）も」という名詞句を形成する場合、ヒンディー語の भी は名詞句中に割り込む。

(5) 動詞

例１）वह चाय पीता भी है।　「あいつはチャーイを…（例：作りもするし）飲みもする。」）
例２）आपने देखा और सुना भी होगा कि ...　「…を、あなたは見、聞いてもいるでしょう。」

मन के जीते जीत

http://mannkijeet.com/Home/HomeList/Idea/The-importance-of-idolatry/7fab2b8b-d94c-4b7f-8674-e69f2e4b4ba8/b/1

(6) 斜格語句、後置詞句

斜格語句：Verb -ते हुए भी：「ーけれども／ーて・も」
＜後述のため例省略＞

後置詞句：Verb -ने पर भी :「ーけれども／ーて・も」

<後述のため例省略>

8.1.2　ही（強調：日本語の係助詞「こそ」、副助詞「だけ」に相当）

(1) 名詞（主語＝後置詞なし）

例１）मैं ही चाय पीता हूँ।　「僕（こそ／だけ）がチャーイを飲む。」

例２）वह ही चाय पीता है।　「彼（こそ／だけ）がチャーイを飲む。」

(2) 名詞（目的語＝後置詞なし）

例１）मैं चाय ही पीता हूँ।　「僕はチャーイだけ飲む／チャーイしか飲まない。」

例２）वह चाय ही पीता है।　「あいつはチャーイだけ飲む／チャーイしか飲まない。」

(3) 名詞（斜格語＝後置詞なし）

例１）मैंने पहले ही कहा था कि वह भाग जाएगा।

「私はそもそも前に（最初から）奴は逃げるって言ってあっただろう。」

例２）कुछ ही देर में होश आ जाएगा।　「ほんの少ししたら意識が戻りますよ。」

(4) 名詞（それ以外＝後置詞あり）

例１）आप घर की क्यारी या गमले में ऐरोवेला उगाकर ताज़ा जूस घर पर ही बना सकते हैं।

「家の花壇や植木鉢にアロエを植えて、新鮮なジュースを家で作れます。」

साइंस वर्ल्ड
http://www.scienceworld.in/aloe-vera-juice-banane-ka-tarika/

例２）आप भी चाहते हैं अपनी बुद्धि का विकास, तो आज से ही करें बैले डांस

「あなたも知の育成を望むのでしたら、早速今日からバレエを（しましょう）」（見出し）

NDTV India
http://khabar.ndtv.com/news/food/if-you-want-to-develop-your-intelligence-so-start-ballet-dance-from-now-1288063

(5) 斜格語句、後置詞句

斜格語句：Verb -ते ही :「ーしたとたん／瞬間、ーするとすぐ、ーするや否や」

<後述のため例省略>

斜格語句：Verb -ने पर ही :「ちょうどーした時に、ちょうどーしたら」

例）भूख लगने पर ही भोजन करें।　「ちょうどお腹が空いた時にご飯を食べよう。」

(6) 文レベル

<上級向けのため省略>

8.1.3　तो（対比：日本語の係助詞「は」（取り立て）に相当）

(1) 名詞（主語＝後置詞なし）

例１）अजय तो ठीक है।　「アジャイは元気だけど…（例：私は元気ではない）。」
例２）साड़ी तो सुंदर है।　「サリーは綺麗だけど…（例：サンダルが変！）。」
例３）साड़ी सुंदर तो है।　「サリーは綺麗ではあるけれど…（例：値段が高い！）。」
例４）दर्द तो है पर क़ज़ा नहीं है।　「痛い（＝痛みはある）けれど、死にはしない（＝死はない）。」

(2) 文レベル

＜上級向けのため省略＞

8.2　コピュラによる強調

ここでは「文」＋ होता है による強調について述べる。これは、命題となる文の文末のコピュラが非定形の未完了分詞に変わり、さらにコピュラが付いたパターンである。ヒンディー語のこの形式は、一般論、普遍あるいは不変の真理、自明の理等を述べる「～ものだ」、「～することになっている」、「のだ」のような働きをする。
以下、命題の述語が名詞、形容詞、動詞の順に例を挙げる。

8.2.1　名詞述語文

例１）माँ तो माँ होती है　「母親は母親なのだ。」
例２）विजय हमेशा सत्य की होती है।　「勝利は常に真実（の方）なのである。」

नव भारत टाइम्स
http://navbharattimes.indiatimes.com/astro/holy-discourse/-/truth-always-wins/articleshow/22573635.cms

8.2.2　形容詞述語文

例１）सेब सेहत के लिए अच्छा होता है।　「リンゴは健康に良い／良いものだ。」
例２）सत्य क्या वह वाकई इतना सीधा होता है?　「真実とは本当にそんなに単純なのでしょうか。」

आज तक
http://aajtak.intoday.in/story/tathya-satya-ritam-hindi-play-at-the-attic-connaught-place-1-799370.html

8.2.3　動詞述語文

例１）वर्षा क्यों होती है?　「雨はなぜある（＝降る）のでしょうか。」

अभिव्यक्ति
http://www.abhivyakti-hindi.org/phulwari/jaankari/mausam/mausam5.htm

例２）मरने के बाद हमारा*5 क्या होता है?　「死後、私たちはどうなるのでしょう。」

All World Gayatri Pariwar- Literature
http://literature.awgp.org/hindibook/Others/MarneKeBaadHamaraKyaHotaHai/

例３）जो दिख रहा होता है, क्या वही सत्य होता है?
「（一般的に）見えているもの、それこそが真実なのでしょうか。」

---

*5 「私たちに何が起こるか」という与格を取る文が普通だが、（他はさておき）「○○はどうなるのか」という対比的な意味の場合には属格を取る。

आज तक
http://aajtak.intoday.in/story/tathya-satya-ritam-hindi-play-at-the-attic-connaught-place-1-799370.html

例４）... अच्छे-बुरे कर्मों का जवाब मृत्योपरांत देना होता है और ...
「善行悪行の裁断は死後にされることになっており…」

iChowk.in
http://www.ichowk.in/culture/heaven-or-hell-depends-on-our-deeds/story/1/2663.html

9　名詞修飾構造

ヒンディー語の名詞修飾の型には、①関係詞を使用したもの（関係節型）、②分詞を使用したもの（連体修飾型）、そして③接辞 -वाला を使用したもの、④同格接続詞 कि を使用したものがある。

以下、順に例示する。

9.1　関係節型

関係節型には二つのタイプがある。一つは先行詞に相当するもの（主要名詞＋関係詞：Type 1）、もう一つは主要名詞に関係詞が前置されるもの（関係詞＋主要名詞：Type 2）がある。Type 1には、①挿入型と②外置型がある。前者は主要名詞（つまり先行詞）の直後に関係詞による修飾節に来るもので、後者は主文の後に関係詞による修飾節が置かれるものを指す。英語のような言語と似たパターンである。一方 Typpe 2は、主要名詞の前に関係詞が出てくるものである。これが一般にヒンディー語の関係詞構文として扱われる。

9.1.1　関係代名詞

人称代名詞の直格形（主格、対格）と斜格形（その他の格）					
数	直格形	斜格形＋को（与格）	斜格形＋ का（属格）	斜格形＋その他（例：से）	斜格形＋ने
単数	जो	जिस को または जिसे	जिस का	जिस से	जिसने
複数	जो	जिन को または जिन्हें	जिन का	जिन से	जिन्होंने

1. 主格（主語の場合）

Type 1： वह लड़का जो वहाँ खड़ा है।「あそこに立っている (あの）男の子」

Type 2： जो लड़का वहाँ खड़ा है।「あそこに立っている男の子」

例：「あそこに立っている少年は、私の弟です。」

・文 1　वह लड़का वहाँ खड़ा है।　「あの男の子は、あそこに立っている。」

・文 2　वह मेरा भाई है।　「彼は私の弟だ。」

⇒【Type 1】

① वह लड़का जो वहाँ खड़ा है, (वह) मेरा भाई है।（挿入型）

② वह लड़का मेरा भाई है जो वहाँ खड़ा है।（外置型）

⇒【Type 2】

जो लड़का वहाँ खड़ा है, (वह) मेरा भाई है।

2. 対格（目的語の場合）

Type 1： वह लड़का जिस को (= जिसे) तुमने पीटा।「君が叩いた (あの) 少年」

Type 2： जिस लड़के को तुमने पीटा।「君が叩いた少年」

例：「君が叩いた少年に、私はお菓子をあげた。」

・文 1　तुमने उस लड़के को पीटा।　「君はあの少年を叩いた。」
・文 2　मैंने उसको मिठाई दी।　「私は彼にお菓子をあげた。」

⇒【Type 1】

① वह लड़का जिसको तुमने पीटा, उसको मैंने मिठाई दी।
② उस लड़के को मैंने मिठाई दी जिसको तुमने पीटा।

⇒【Type 2】

जिस लड़के को तुमने पीटा, उसको मैंने मिठाई दी।

3. 属格

Type 1 : वह लड़का जिस का इंतज़ार मैं कर रही थी।　「私が待っていた (あの) 男の子」
Type 2 : जिस लड़के का इंतज़ार मैं कर रही थी।　「私が待っていた男の子」

例 :「私が待っていた男の子は、私の彼 (恋人) だったの。」

・文 1　मैं उस लड़के का इंतज़ार कर रही थी।　「私はその男の子を待っていた。」
・文 2　वह मेरा प्रेमी था।　「彼は私の恋人だ。」

⇒【Type 1】

① वह लड़का जिस का इंतज़ार मैं कर रही थी, वह मेरा प्रेमी था।
② वह लड़का मेरा प्रेमी था जिस का इंतज़ार मैं कर रही थी।

⇒【Type 2】

जिस लड़के का इंतज़ार मैं कर रही थी, वह मेरा प्रेमी था।

◎ 名詞的用法（「人」もしくは「もの／こと」を包括するもの）

★人の場合
जो प्यार करता है, (वह) पागल बन जाता है।　「恋する者は、狂ってしまう。」
जो यहाँ नहीं है, उस की याद आती है।　「ここにいない人のことを思い出す。」

★もの／ことの場合
जो मैंने कहा, वह मान लो！　「私が言ったことを認めなさい。」
मैं जो कहता हूँ, वह करता भी हूँ।　「僕は、(自分が) 言うことは（ちゃんと）やりもするよ。」

9.1.2　関係形容詞

1. 様態【जैसा（जैसी, जैसे）＝ जिस तरह का（जिस तरह की, जिस तरह के）】
近称詞 : इस तरह का ＝ ऐसा　「このような」
遠称詞 : उस तरह का ＝ वैसा, तैसा　「あのような／そのような」
関係詞 : जिस तरह का ＝ जैसा

Type 1 : उस तरह का काम जो तुमने किया था।　「お前がした（そういう）こと」
Type 2 : जिस तरह का काम तुमने किया था।　「お前がした（そういう）こと」
関係形容詞 : जैसा काम तुमने किया था।　「お前がした（そういう）こと」

例 :「おまえがした（ような）ことは、悪いことだった。」

・文 1　वह ऐसा काम करता है।　「彼はこのようなことをしている。」
・文 2　कोई भी ऐसा काम नहीं करता।　「誰もこのようなことはしない。」

⇒【Type 1】
①उस तरह का काम जो तुमने किया था, वह बुरा था।
②उस तरह का काम बुरा था जो तुमने किया था।

⇒【Type 2】
जिस तरह का काम तुमने किया था, उस तरह का काम (=वह) बुरा था।

⇒【関係形容詞】
जैसा काम तुमने किया था, वैसा काम (=वह) बुरा था।

◎　名詞的用法（「もの／こと」を包括するもの）
जैसा मैं कहता हूँ, वैसा करना।　「私の言うようにしなさい。」

◎　副詞的用法（斜格形 जैसे を使用したもの）
जैसे वह कर सकता है, वैसे कोई भी नहीं कर सकता।「彼がするようには誰もできない。」

☆　慣用表現
(1) जैसे-जैसे, (वैसे-वैसे) :「～するにしたがって、～するにつれ」
例 : जैसे-जैसे बढ़ती उम्र, वैसे-वैसे घटती नींद「加齢につれ睡眠減少」

BBC Hindi
http://www.bbc.com/hindi/science/2016/05/160523_vert_fut_less_sleep_get_older_tk

(2) जैसे ही :「～すると（すぐに）、～したとたん」
例 : जैसे ही सुबह हुई, वह घर से निकल पड़ा।　「朝になるとすぐ、彼は家を出た。」
(3) जैसे ［仮定法］:「まるで～のように」
例 : वह अंग्रेज़ी बोल रही थी जैसे वह हिन्दुस्तानी न होकर अमेरिकन हो।
「彼女はまるでインド人ではなくアメリカ人のように英語を話していた。」
(4) जैसा का तैसा :「そのまま／あるがまま」
例 : कपड़ों के रंग को जैसा का तैसा बनाए रखने के लिए कई तरीके होते हैं...
「服の色を（色落ちさせず）そのままにしておくのにはいくつか方法がある。」

hindi bold sky
http://hindi.boldsky.com/home-garden/improvement/2015/awesome-ways-to-prevent-clothes-from-fading-8478.html

(5) जैसे को तैसा :「目には目、歯には歯」
(6) जैसे तैसे :「なんとか、どうにかこうにか」
例 : जैसे-तैसे बीरबल ने बचाई अपनी गद्दी !　「なんとかビールバルは自分の地位を守った。」

नव भारत टाइम्स
http://navbharattimes.indiatimes.com/jokes/funny-photos/akbar-birbal-tale-3-weird-and-tough-question/akbar-birbal/photomazaashow/52311002.cms

2. 数量【जितना (जितनी, जितने) = जिस मात्रा का (जिस मात्रा की, जिस मात्रा के)】
近称詞 : इस मात्रा का = इतना　「このくらいの」
遠称詞 : उस मात्रा का = उतना　「あのくらいの／そのくらいの」
関係詞 : जिस मात्रा का = जितना

Type 1：<一般的に使用しないので省略>
Type 2：<一般的に使用しないので省略>
関係形容詞 : जितनी साड़ियाँ आप के पास हैं।「あなたが持っている (これだけたくさんの) サリー」

例 :「私は、あなたが持っているほどたくさんのサリーを持っていない。」

・文 1　आप के पास इतनी साड़ियाँ हैं।　「あなたはこんなにサリーを持っている。」
・文 2　मेरे पास उतनी साड़ियाँ नहीं हैं।　「私はそんなにサリーを持ってない。」

⇒【Type 1】
<省　略>

⇒【Type 2】
<省　略>

⇒【関係形容詞】
जितनी साड़ियाँ आप के पास हैं, उतनी मेरे पास नहीं।

◎ 名詞的用法（「もの／こと」を包括するもの）
जितना खा सकें, उतना ही खाइए।　「食べられるだけ食べてください。」

9.1.3 関係副詞

1. 場所【जहाँ】
近称詞 : इस स्थान पर ／ में = यहाँ　「ここで (に)」
遠称詞 : उस स्थान पर ／ में = वहाँ　「あそこで (に) ／そこで (に)」
関係副詞 : जिस स्थान पर ／ में = जहाँ

【斜格名詞句】
Type 1 : वह स्थान जिस पर मैं खड़ा था।　「僕が立っていた (あの) 場所」
Type 2 : जिस स्थान पर मैं खड़ा था।　「僕が立っていた場所」
関係副詞 : जहाँ मैं खड़ा था।　「僕が立っていた所」

例 :「僕が立っていた所に、友達が来た。」

・文 1　मैं वहाँ खड़ा था।　「僕はあそこに立っていた。」
・文 2　वहाँ मेरा मित्र आया।　「そこに友達がやって来た。」

⇒【Type 1】
① वह स्थान जिस पर मैं खड़ा था, उस स्थान पर मेरा मित्र आया।
② उस स्थान पर मेरा मित्र आया जिस पर मैं खड़ा था।

⇒【Type 2】
जिस स्थान पर मैं खड़ा था, उस स्थान पर मेरा मित्र आया।

⇒【関係副詞】

जहाँ मैं खड़ा था, वहाँ मेरा मित्र आया।

2. 時【जब = जिस समय पर】

近称詞 : इस समय (पर／में) = अब　「この時(に)」⇒「今」
遠称詞 : उस समय (पर／में) = तब　「あの時(に)／その時(に)」
関係副詞 : जिस समय (पर／में) = जब

【斜格名詞句】

Type 1：<省　略>
Type 2 : जिस समय (पर) मैं वापस आई।　「私が帰って来た時」
関係副詞 : जब मैं वापस आई।　「私が帰って来た時」

例 :「私が帰って来た時、彼は遊んでいた。」

・文 1　मैं वापस आई।「私は帰って来た。」
・文 2　तब वह खेल रहा था।「その時、彼は遊んでいた。」

⇒【Type 1】

<省　略>

⇒【Type 2】

जिस समय (पर) मैं वापस आई, उस समय (पर) वह खेल रहा था।

⇒【関係副詞】

जब मैं वापस आई, तब वह खेल रहा था।

3. 方向【जिधर = जिस तरफ़ または जिस ओर】

近称詞 : इस तरफ़ = इधर　「この方向に」
遠称詞 : उस तरफ़ = उधर　「あの方向に／その方向に」
関係副詞 : जिस तरफ़ = जिधर

【斜格名詞句】

Type 1：<省　略>
Type 2 : जिस तरफ़ आप जा रहे हैं।　「あなたが行こうとしている方向」
関係副詞 : जिधर आप जा रहे हैं।　「あなたが行こうとしている方向」

例 :「あなたが行こうとしている方に、僕も行くところです。」

・文 1　आप उधर जा रहे हैं।　「あなたはあちらへ行こうとしています。」
・文 2　मैं भी उधर जा रहा हूँ।　「僕もあっちへ行くところです。」

⇒【Type 1】

<省　略>

⇒【Type 2】

जिस तरफ़ आप जा रहे हैं, मैं भी उस तरफ़ जा रहा हूँ।

⇒【関係副詞】

जिधर आप जा रहे हैं, उधर मैं भी जा रहा हूँ।

4. 様態【ज्यों = जिस तरह（जिस तरीक़े से）】

近称詞 : इस तरह = यों 「このように」
遠称詞 : उस तरह = त्यों 「そのように」
関係詞 : जिस तरह = ज्यों

【斜格名詞句】

Type 1 : <省 略>
Type 2 : जिस तरह चकमक में आग है। 「炎の中に火があるように」
関係副詞 : ज्यों चकमक में आग है। 「炎の中に火があるように」

例 : जैसे तिल में तेल है ज्यों चकमक में आग
तेरा साईं तुझमें है तू जाग सके तो जाग
「ゴマの実に油があるように、炎に火があるように。
汝の中には神がおわす。さあ、できれば目覚めん。」

कबीर जी के दोहे - कबीर अमृतवाणी
http://kabiramritvani.blogspot.jp/2010/04/blog-post_17.html

☆ 慣用表現

(1) ज्यों-ज्यों, त्यों-त्यों :「〜するにしたがって、〜するにつれ」
例 : ज्यों-ज्यों दिन लंबे होते जाते हैं, त्यों-त्यों रातें छोटी होती जाती हैं।
「日が長くなっていくにつれ、夜が短くなっていく。」

(2) ज्यों ही :「〜するとすぐに、〜したとたん」
例 : ज्यों ही घर से निकला, त्यों ही पानी बरसने लगा। 「家から出たとたん、雨が降り始めた。」

(3) ज्यों का त्यों :「そのまま、あるがまま」
例 : वह ज्यों का त्यों नकल करके ले आया। 「あいつはそのまままねをして持ってきた。」

(4) ज्यों त्यों :「なんとか、どうにかこうにか」
例 : ज्यों त्यों उनसे भी मेल हो गया। 「なんとかあの人に対してもうまくやった。」

9.2 分詞、不定詞を用いた名詞修飾（連体修飾型）

未完了分詞もしくは完了分詞が名詞（主要名詞）を修飾する場合、「未完了分詞／完了分詞＋（コピュラ完了分詞）＋主要名詞」の構造をとる。不定詞が修飾する場合は、後置詞の का を伴い、「不定詞＋ का ＋主要名詞」の構造をとる。

9.2.1　未完了分詞

主要名詞が主語の場合

例１）खेलता (हुआ) बच्चा　「遊ぶ（遊んでいる）子供」
例２）बहती (हुई) नदी　「流れる（流れている）川」

解説

連体修飾型の名詞句は、以下の通り関係詞を使って言い換えることが可能である。

＜前置型＞		＜後置型＞
例１）खेलता बच्चा	＝	बच्चा जो खेलता है
例１）खेलता हुआ बच्चा	＝	बच्चा जो खेलता है／खेल रहा है

＜前置型＞		＜後置型＞
例２）बहती नदी	＝	नदी जो बहती है
例２）बहती हुई नदी	＝	नदी जो बहती है／बह रही है

昨今では進行形そのものを修飾節として使用した'खेल रहा बच्चा'、'बह रही नदी'という言い方も見られる。

9.2.2　完了分詞

主要名詞が主語の場合

例１）मरा (हुआ) मृग　「死んだ（状態の）鹿」
例２）गुज़रा (हुआ) ज़माना　「過ぎた時代」

解説

連体修飾型の名詞句は、以下の通り関係詞を使って言い換えることが可能である。

＜前置型＞		＜後置型＞
मरा मृग	＝	मृग जो मर गया／मरा है
मरा हुआ मृग	＝	मृग जो मरा हुआ है

＜前置型＞		＜後置型＞
गुज़रा ज़माना	＝	ज़माना जो गुज़र गया／गुज़रा है
गुज़रा हुआ ज़माना	＝	ज़माना जो गुज़रा हुआ है

主要名詞が目的語の場合

例１）मेरा लिखा (हुआ) पत्र　「私の書いた（状態にある）手紙」
例２）उसका बनाया (हुआ) खाना　「彼(女)の作った（状態にある）ご飯」

解説

連体修飾型の名詞句は、以下の通り関係詞を使って言い換えることが可能である。

＜前置型＞ ＜後置型＞
मेरा लिखा (हुआ) पत्र = पत्र जो मैंने लिखा／मैंने लिखा है

＜前置型＞ ＜後置型＞
उसका बनाया खाना = खाना जो उसने बनाया／खाना जो उसने बनाया है

元の文の主語は日本語同様､「の」に当たる属格後置詞 का を使って表す。また、主語、目的語以外は不可能な修飾構造。残りはすべて関係詞節による修飾構造を取る。

9.2.3 不定詞

不定詞（動名詞に同じ）が名詞を修飾する場合、属格後置詞の का を伴う。

不定詞　属格後置詞 का　主要名詞

不定詞＋主要名詞が目的語の場合

例１）पीने का पानी 「飲み水」
例２）देखने की चीज़ 「見るもの」

不定詞＋主要名詞が目的語以外の場合

例３）सोचने का तरीका 「考え方」
例４）स्वर्ग जाने का रास्ता 「天国へ行く道」
例５）खाने का समय 「食べる時間」

解説

不定詞が属格後置詞を伴って修飾する場合、主要名詞に主語相当のものは基本的に来ない。これに関連して、主要名詞が不定詞の場合について参考までに例を挙げる。

例１）मेरा कहना 「私の言うこと」
例２）उसका आना 「彼 (女) の来ること」

上の二例のように、修飾句となる代名詞と属格後置詞、および不定詞の名詞句は主語、動詞の関係になる。

9.3 同格接続詞 कि を用いた名詞修飾（同格節型）

主語

例１）यह ख़ुशी की बात है कि आप फिर भारत आईं। 「あなたがまたインドに来られたことは嬉しいことです。」
例２）मुझे (मेरी) आशा है कि सब ठीक चल रहा है। 「すべて順調に進んでいることを私は望んでいます」
例３）मुझे (यह) मालूम है कि राम कल स्कूल नहीं गया। 「私はラームが昨日学校に行かなかったことを知っている。」
例４）ऐसा लगता है कि अधिकारी माफ़िया से मिले (हुए) हैं। 「政府当局者たちがマフィアと会っていた模様だ。」

दैनिक भास्कर
http://www.bhaskar.com/news/JHA-RAN-HMU-it-seems-that-officers-have-met-with-the-mafia-hc-5258252-NOR.html

目的語

例1）मैं कभी-कभी (यह) सोचता हूँ कि २०१६ में मेरे साथ क्या होगा।　「2016年に僕に何が起こるかと時折考える。」

例2）उन्होंने नौकर से (यह) कहा कि मेहमान के लिए पानी ले आना।
「その方は召使いに『お客さんにお水をもってきて』と言った。」

例3）हम (यह) चाहते हैं कि आप हमारे यहाँ ठहरें।　「私たちは、あなたにここに泊まってほしい。」

補語

例1）मेरा ख़याल (यह) है कि अंकारा पहले दो रास्तों में से ही किसी एक को चुनेगा।
「私の考えでは、アンカラ（トルコ）がまず二つの道からどちらか一方を選ぶということだ。」

रूस-भारत संवाद
http://hindi.rbth.com/world/2016/02/15/kyaa-ruus-aur-turkii-ke-biic-yuddh-ho-sktaa-hai_567719

例2）कुछ लोगों की (यह) मान्यता है कि ईश्वर को पाने के अनेक रास्ते हैं।
「神様と合一するには多くの道があると思っている人もいる。」

例3）इस का विरोध करने वाले लोगों का कहना है कि यह भारतीय संस्कृति के ख़िलाफ़ है।
「これに反対する人々が言うには、これはインド文化に反するものだ、ということだ。」

BBC HINDI.com
http://www.bbc.com/hindi/regionalnews/story/2007/06/printable/070620_condom_sextoy.shtml

例4）परीक्षाओं के लिए अच्छी तरह तैयारी करो ताकि अच्छा परिणाम आए।
「いい点を取るために、試験のためによく準備をしなさい。」

9.4　वाला を用いた名詞修飾（連体修飾型）

9.4.1　名詞修飾句

例1）लाल टोपी वाला बच्चा　「赤い帽子の（かぶった）子供」

例2）लाल वाला स्वेटर　「赤い（方の）セーター」

例3）अजमेर को जाने वाली ट्रेन　「アジメール行きの列車」

例4）यूनिफ़ोर्म पहनने वाली पुलिस　「制服を着た警察官」

9.4.2　準体助詞的用法

例1）दूध वाला／दूधवाला　「ミルク売り」

例2）अख़बार वाला　「新聞売り、新聞屋」

例３）लाल वाला　「赤いの」

9.4.3 述語用法

例１）वह दिल्ली का रहने वाला है।　「彼はデリーに住んでいる者だ。」⇒「デリーに住んでいる／出身である。」

例２）हम मेट्रो स्टेशन पर पहुँचने वाली हैं।　「私たちはメトロの駅に着くところよ。」

例３）चाहे पूर्वी उत्तर प्रदेश हो, चाहे बिहार हो, चाहे पश्चिम बंगाल हो, असम हो, नोर्थ-ईस्ट हो, उड़ीसा हो, ये सारे क्षेत्र जितनी तेज़ी से develop होंगे हिन्दुस्तान उतनी ही तेज़ी से आगे बढ़ने वाला है।

「東部ウッタル・プラデーシュ州であれ、ビハール州であれ、西ベンガル州、アッサム州、北東辺境州、オリッサ州であれ、これらの地域すべてインドが発展しているだけの速さで発展するだろう。」

Press Information Bureau, Government of India
http://pib.nic.in/newsite/PrintRelease.aspx?relid=137851

解説

例２、例３は、準体助詞的機能を持つ वाला が、間近に迫った出来事に対して使用されている例である。

10　副詞句に関わる表現－斜格語句と後置詞句－

副詞句については、名詞、形容詞、動詞の斜格語から成る句と、後置詞と組み合わせによる句がある。これらについては本来副詞句（あるいは副詞節）で使用するが、述語あるいは述部に使うこともある。

以下では、まずこの斜格語句と後置詞句が述語で使用される例を概観し、それから副詞句として使用されている例を示す。

10.1　述語使用

10.1.1　斜格語句

形容詞

例１）यह शहर रहने लायक है।　「この街は住むに値する。」

例２）वे लोग भरोसे के लायक नहीं हैं।　「あの人たちは信用に値しない、信用できない。」

完了分詞

例１）वह महिला साड़ी पहने हुए थी।　「あの女性はサリーを着ていた。」

例２）१४ दिन पुलिस उसे ढूँढ़ने में रात दिन एक किये हुए थी।
「14日間、警察は彼女を探すのに徹夜していた。」

NDTV India
http://khabar.ndtv.com/news/mumbai/virar-kidnapping-mystery-solved-1278528

解説

形容詞の例１，２で使用されている लायक は、属格斜格形の के を伴ったり伴わなかったりする。特に不定詞が修飾語となる場合は के を伴わないことが多い。　また、完了分詞の例だが、これは状態の「－て・いる」を述べるものである。述語動詞の部分が斜格形を取り、主語とコピュラ動詞が一致を起こすのが一般的である。だが、最近では述語の完了分詞が斜格形ではなく、主語の性・数に一致させるものも見られる。例：वह महिला साड़ी पहनी हुई थी।

10.1.2　後置詞句

(1) 後置詞 का を使用したもの－準体助詞的な表現

人

例１）क्या आप दिल्ली के हैं?　「あなたはデリーの方ですか。」

例２）आप कितने साल के हैं?　「あなたはおいくつですか。」

例３）वह कहाँ की है?　「彼女はどこの人なの。」

物

例１）यह आप का है।　「これはあなたのです。」

例２）यह कम्प्यूटर मेरा है।　「このコンピュータは私のだ。」

例３）यह कम्प्यूटर कितने का है?　「このコンピュータはいくら。」

(2) 後置詞 को を使用したもの－近未来、予定の表現

例１）सर्दियाँ बीतने को हैं।　「冬が過ぎようとしている。」

例２）जबकि क़रीब १५,०८३ स्कूल बंद होने को हैं जिससे क़रीब ३५ लाख ग़रीब छात्र प्रभावित होंगे।

「一方で約15,083校が閉鎖されることになっており、約350万人の貧しい学生たちに影響が出るだろう。」

Centre for Civil Society
http://ccs.in/right-to-education-and-budget-private-schools

(3) 後置詞 से を使用したもの－出身を述べる表現

例１）हम दिल्ली से हैं।　「私たちはデリーの出身です。」

例２）आप कहाँ से हैं?　「あなたはどこの方ですか。」

10.2　副詞句使用

ここからは斜格語句と後置詞句が副詞句として使用される例を挙げる。例に挙げる動詞は करना「する」を便宜上使用する。なお、例文については割愛する。

10.2.1　斜格語句

(1) 未完了分詞 (斜格形)、完了分詞 (斜格形)

करते「して（しながら）」
करते-करते「しているうちに」
करते ही「したとたん、するやいなや」
करते हुए「しながら」
करते हुए भी「しながらも」
किए「して（行為は完了）」
किए हुए「して（あるまま）」

(2) 未完了分詞＋名詞（斜格形）

करते समय「する時、した時」

(3) 不定詞＋名詞または形容詞（斜格形）

करने के（से）पहले「する（より）前に」
करने के बाद「した後に」
करने की जगह「する代わりに」
करने के कारण「する理由で」
करने के समय「する時、した時」

解説

करते हुए「しながら」については主文の主語と述語動詞と性・数が一致してもよい。

例１）कर्तव्यहीन व्यक्ति केवल कामना करता हुआ निरुद्देश्य जीवन जीकर चला जाता है।
「無責任な人間は肉欲に溺れながら、目的のない人生を生きて終わる。」

जागरण
http://www.jagran.com/spiritual/religion-kartwyhin-person-lived-only-wish-is-purposeless-life-goes-14105789.html

例２）वह गुंबद की तरफ़ देखता हुआ यह सब सुन रहा था।
「彼は円蓋の方を見ながらこれを全部聞いていた。」

हिंदी समय
http://www.hindisamay.com/contentDetail.aspx?id=2746&pageno=1

名詞 समय（あるいは वक़्त）「時」を斜格語として使った「〜する時（に）」に当たる表現には、以下の通り３通りの表現があることになる。

例１）(मेरे) भारत जाने के समय
例２）(मेरे) भारत जाते समय
例３）जब मैं भारत जाऊँगा ／ जाऊँगी

例１、２はここで挙げた不定詞あるいは未完了分詞を使った副詞句であり、例３は名詞修飾で扱った関係副詞節によるものである。なお、文が短めの場合は例１、２のパターンを使えるが、長くなると例３のパターンが好まれる傾向にある。

10.2.2　後置詞句

(1) 不定詞＋後置詞

करने पर「すると、したら」

करने में「するのに」

करने के लिए「するために」

करने तक「するまで」

(2) 不定詞＋名詞＋後置詞

करने के स्थान पर「する代わりに」

करने की वजह से「する理由で」

(3) 不定詞＋ゼロ

करने「しに／するために」

解説

不定詞＋ゼロの करने については、通常 जाना「行く」、आना「来る」、पहुँचना「着く」等の移動を表す動詞が後続する。なお、करने に जाना の進行形（例：करने जा रहा है）が来た場合、「しようとする」という近接未来を表すこともある。

10.3　斜格語句（名詞･形容詞･動詞）と後置詞句による副詞句表現

以下に、前節で扱った副詞句使用の斜格語句と後置詞句をまとめて掲載する。右列の女性名詞の斜格語句あるいは後置詞句になるものは、存在するものだけを掲載している。空白は該当するものがないことを断っておく。

名詞・形容詞・動詞の斜格形を用いた副詞句表現一覧		
日本語	～ के ［名詞・形容詞・動詞］	～ की ［名詞・形容詞・動詞］
「～の時(に)」	～ के समय ／ वक़्त	
「～のところに」	～ के यहाँ	
「～の理由で」	～ के कारण ／ मारे	～ की वजह से
「～のように」	――――――	～ की तरह ／ भाँति
「～の代わりに」	～ के स्थान पर ／ बदले	～ की जगह
「～の前に」	～ के पहले （または से पहले） ／ पूर्व	
「～の後に」	～ के बाद ／ पश्चात् ／ उपरांत	
「～の先に」	～ के आगे	
「～の後ろに」	～ के पीछे	
「～の方に」	(～ के ओर ／ तरफ़)	～ की ओर ／ तरफ़
(「～の四方に」)	～ के चारों ओर ／ चारों तरफ़	
「～の中に」	～ के अंदर ／ भीतर	
「～の外に」	～ के बाहर （または से बाहर)	
「～の辺りに」	～ के आसपास	
「～の上に」	～ के ऊपर	
「～の下に」	～ के नीचे	
「～の近くに」	～ के नज़दीक ／ निकट ／ समीप ～ के आसपास	
「～の傍(近く)に」～	～ के पास （＝［所有表現「持っている」］）	
「～のために」	～ के लिए ／ वास्ते	
「～に比べて」	～ के मुक़ाबले (में)	～ की तुलना में ／ अपेक्षा
「～に従って」	～ के अनुसार ／ मुताबिक़	
「～に(反)対して」	～ के ख़िलाफ़ ／ विरुद्ध ／ विपरीत ～ के उलटे ／ प्रति ／ प्रतिकूल	
「～に等しく」	～ के बराबर	
「～なしで」	～ के बिना ／ बग़ैर または बिना ／ बग़ैर ～ के	
「～と共に」	～ के साथ または समेत	
「～と同じように」	～ के समान	
「～の目の前に」	～ के सामने ／ समक्ष ／ सम्मुख	
「～の間に」	～ के बीच (में)	
「～と対面して」	～ के सम्मुख ／ रूबरू	
「～以外に(の他に)」	～ के सिवा ／ अलावा ／ अतिरिक्त	
「～を通じて」	～ के द्वारा	
「～の手を介して」	～ के हाथ	
「～にもかかわらず」	～ के बावजूद	
「～について」	～ के बारे में	

11　複文

複文には、接続詞や斜格語句あるいは後置詞句を使用したものと、文レベルのものを節として埋め込む埋め込み型がある。

11.1　接続詞と斜格語句／後置詞句を使用した複文

以下に主な接続詞と、それらの接続詞を用いた文と同じ意味を表すことになる斜格語句あるいは後置詞句の例を挙げる。接続詞の一覧には、日本語「それも」や「それでも」のような複合形の接続表現も含んでいる。なお、ここではこれら接続詞、斜格語句、後置詞句の例文は割愛する。

11.1.1　接続詞一覧

接続詞	主な日本語の意味対応	ヒンディー語の例
順接	追加（Aか／そしてB[*6]）	और ／ तथा ／ व ／ एवं
	選択（Aか／またはB）	या ／ अथवा ／ वा
	添加（その上、それも、それだけでなく）	ऊपर से ／ वह भी ／ इतना ही नहीं ～
逆接	否定（が、しかし、でも／それでも）	पर ／ लेकिन ／ मगर ／ परन्तु ／ किन्तु ／ फिर भी
	追加情報（…でなく [否定文]、逆に～）	～ [否定文], बल्कि …
	～が／けれども、…	हालाँकि ／ यद्यपि ／ अगरचे ～, पर[*7]…
帰結、結果	だから（だからこそ）～	इसलिए (इसीलिए) ～
	それで／で～	तो ／ सो ／ अतः ～
原因、理由	なぜなら～	क्योंकि ～
	…ので～	चूँकि …, इसलिए ～[*8]
目的	～ために／ように…	…ताकि ～
条件、仮定	もし…ば／たら／と、～	यदि ／ अगर ～ (,)[*9]तो …
	さもなければ～	वर्ना ／ नहीं तो ～
様態	…ように、～	जैसे …, ～
	まるで～ように…	…मानो ～
制限	…まで／限り、～	जब तक …, (तब तक[*10]) ～
換言	Aすなわち／つまりB	यानी ／ अर्थात् ～

[*6] A、Bには語、句、節、文が入る。以下も同様。
[*7] हालाँकि 他は、後続の逆接を表す接続詞 पर 等と呼応する。
[*8] चूँकि は後続の原因、理由を表す接続詞 इसलिए と呼応する。
[*9] カンマは必ずしも打たなくてよい。この条件節に関わらず、節の切れ目にカンマを必ずしも打たなくてよい。
[*10] तब तक は必ずしも呼応させる必要はない。

11.1.2　斜格語句と後置詞句一覧

後置詞句	主な日本語の意味対応	ヒンディー語の例
順接	順序：V て、V て・から	V-कर
	動作の列挙、継続：V て	V-ते（未完了）, V-ए(ये)（完了）
	並列：V ながら	V-ते हुए
	状態の継続：V たまま	V-ए(ये) हुए
逆接	動作の列挙：ても	V-कर भी, V-ने पर भी
	並列：V ながらも	V-ते हुए भी
手段、方法	V で／によって	V-ने से
原因、理由	V ので	V-ने से
目的	V ために	V-ने के लिए
因果、条件、仮定	V と／たら	V-ने पर
場合、時	V のに／場合に／際に	V-ने में
動作、状態の期限	V まで／限り	V-ने तक

11.1.3　接続詞による副詞節と斜格語句／後置詞句による副詞句の相関例

(1) 順接

例）　मैं निराश हुआ और घर गया।　「僕はがっかりして家へ帰った。」

⇔　मैं निराश होकर घर गया।

(2) 逆接

例）　सूर्योदय हुआ लेकिन वह नहीं जागा।　「日の出になった。しかし彼は目覚めなかった。」

⇔　सूर्योदय होने पर भी वह नहीं जागा।

例）　वह मोटी है, फिर भी प्यारी है।　「彼女は太っている。それでもかわいい。」

⇔　वह मोटी होते हुए भी प्यारी है।

(3) 原因、理由

例）　क्योंकि वह नहीं आया, इसलिए मैं काम पूरा नहीं कर पाया।
「彼が来なかったので、僕は仕事を終わらせられなかった。」

⇔　उसके न आने के कारण मैं काम पूरा नहीं कर पाया।

(4) 条件、仮定

例）　यदि माँग पूरी न हुई, तो हम हड़ताल करेंगे।　「もし要求が叶えられなかったら、ストライキをしよう。」

⇔ माँग पूरी न होने पर हम हड़ताल करेंगे।

(5) 目的

例） मैं पढ़ने के लिए अमेरिका जा रहा हूँ। 「僕はアメリカへ勉強しに行く。」

⇒ ＜接続詞 ताकि は使用不可＞

例） मैं भी उठूँ ताकि दूसरे लोग बैठ सकें? 「僕（私）も、他の人たちが座れるように立ちましょうか。」

⇒ ＜斜格語句 के लिए は使用不可＞

解説

目的の के लिए「〜ために」は、主文と斜格語句の不定詞の主語が一致している場合に使われ、ताकि「〜ように／ために」は、主文と不定詞の主語が異なる場合に使われる。

11.2 埋め込み型の複文

ここでは動詞述語文を主文に埋め込むパターンを示す。主文の述語動詞には知覚動詞（दिखाई देना = दीखना (दिखना)「見える」、सुनाई देना「聞こえる」、देखना「見る」、सुनना「聞く」、さらに लगना「感じられる、思う」、पाना「認識する、分かる」等が来る。その他、चाहना「欲する」とそれから派生した不変化詞 चाहिए についてもパターンが類似しているためここに例示する。

11.2.1 主語埋め込み型

(1) ○○ V-ते दिखाई देना「○○が V するのが見える」

(मुझे यह दिखाई दे रहा है कि कोई आदमी राम के पीछे आ रहा है।)

⇒ (मुझे) कोई आदमी राम के पीछे आते दिखाई दे रहा है।

「誰か（男）がラーマの後ろに付いてきているのが見える。」

(2) ○○ V-ते सुनाई देना「○○が V するのが聞こえる」

(मुझे यह सुनाई दे रहा था कि कोई गाना गुनगुना रहा था।)

⇒ मुझे कोई गाना गुनगुनाते हुए सुनाई दे रहा था। 「（私には）誰かが鼻歌を歌っているのが聞こえた。」

(3) लगना「V すると感じられる／思う」

例） मुझे लगता है कि आज चाचा जी नहीं आएँगे। 「私は今日叔父さんは来ないと思う。」

⇒ ＜埋め込み不可＞*11

(4) चाहिए「V することが欲される、望まれる」

例） हमें चाहिए कि हम शांतिपूर्वक जीवन जीएँ और औरों के लिए भी शांति का ही निर्माण करें।

「私たちは、平和な人生を送り、他人のためにももちろん平和を築ききたいと思う。

*11 形容詞述語文、名詞述語文なら埋め込み可。例）(मुझे) आप व्यस्त लग रहे हैं।「忙しそうですね。」

⇒　＜埋め込み不可＞[*12]

विपश्यना साधना
https://www.dhamma.org/hi/about/art

11.2.2　目的語埋め込み型

(1) ○○ को V-ते देखना「○○が V するのを見る」

例）　मैंने देखा कि वह मैदान में दौड़ रहा है।　「私は彼が広場で走っているのを見た。」

⇔　मैंने उसे मैदान में दौड़ते हुए देखा

(2) ○○ को V-ते सुना「○○が V するのを聞く」

例）　मैंने सुना कि कोई चिल्ला रही है।　「私は誰かが叫んでいるのを聞いた。」

⇔　मैंने किसी को चिल्लाते हुए सुना।

(3) पाना「V するのを認識する」

例）　दूसरों को प्रसन्न करने की कोशिश में हम पाते हैं कि हम एक ऐसे इलाके की ओर जा रहे हैं जो हमारे प्रभाव क्षेत्र के बाहर है।

「他人を喜ばせようとしているうちに、私たちは自分の影響が及ばないある領域に向かっていることが分かる。」

⇒　＜埋め込み不可＞

हिंदी समय
http://www.hindisamay.com/contentDetail.aspx?id=1528&pageno=2

例）　... लेकिन हम पाते हैं कि वहाँ स्थापना बटन ही नहीं है।

「しかし、そこにセットアップボタンがそもそもないと分かる。」

⇔　... लेकिन हम वहाँ स्थापना बटन ही नहीं पाते हैं।

Office 365
https://support.office.com/hi-in/article/कौन-सा-Office-365-व्यवसाय-उत्पाद-या-लाइसेंस-मेरे-पास-है-f8ab5e25-bf3f-4a47-b264-174b1ee925fd

(4) चाहना「V することを欲する、望む」

例）　हम चाहते हैं कि हम शांतिपूरवक जीवन जिएँ।　「私たちは、平和な人生を送りたい。」

⇔　हम शांतिपूर्वक जीवन जीना चाहते हैं।[*13]

Office 365
https://support.office.com/hi-in/article/कौन-सा-Office-365-व्यवसाय-उत्पाद-या-लाइसेंस-मेरे-पास-है-f8ab5e25-bf3f-4a47-b264-174b1ee925fd

[*12] 動詞述語文の埋め込みは、埋め込まれる文と主文の主語が一致する場合のみ可。例）हमें शांतिपूर्वक जीवन जीना चाहिए।　「私たちは清和な人生を過ごす必要がある。」

[*13] 動詞述語文の埋め込みは、埋め込まれる文と主文の主語が一致する場合にのみ可。主語が異なると埋め込み文は不可になる。

12　定型表現

最後に慣用的に使われる主な定型表現を、比較に関する表現、所有に関する表現、時間や時刻に関する表現の順に掲載する。

12.1　比較級、最上級に関する表現

12.1.1　比較級

☆ **比較級［+］: A は B より［多く］形容詞：　A　B　से　［ज़्यादा ／ और ／ अधिक］　形容詞**

例）यह साड़ी उस साड़ी से ज़्यादा महँगी है।　「このサリーはあのサリーより高い。」

☆ **比較級［−］: A は B より［少なく］形容詞：　A　B　से　［कम］　形容詞**

例）यह साड़ी उस साड़ी से कम महँगी है।　「このサリーはあのサリーほど高くない。」

12.1.2　最上級

☆ **A は何より　形容詞：　A　सब से　形容詞**

例）यह साड़ी सब से महँगी है।　「このサリーは一番高い。」

注

一語彙の比較級形容詞は、形容詞に接辞 -तर を付加した、बेहतर「より良い」、उत्तर「上級の」、बदतर「より悪い、劣った」。最上級には接辞 -तम を付加した सुन्दरतम「最も美しい、उत्तम「最上級の」等がある。

12.2　所有に関する表現

ヒンディー語には英語のように所有を表す have 動詞はない。「A のそばに B がある」という表現を、「A には B がある」や「A が B を持っている」という文脈で使用する。ただし、これが所有の文脈で使えるのは、通常 B が譲渡可能なものである。譲渡不可能なもの、例えば血族の人間や身体部位等は属格後置詞 का で表す。

以下に具体的な例を示す。

12.2.1　一般的な所有

☆ **A のそばに B がある、B を持っている：　A　के पास　B　コピュラ**

例１）उस के पास एक साइकिल है।　「彼 (女) のところには自転車が一台ある。」⇒「彼 (女) は自転車を一台持っている。」

例２）हमारी सरकार के पास पैसा नहीं है।　「うちの政府はお金がありません。」

例３）क्या आप के पास समय है?　「お時間ありますか。」

12.2.2　譲渡不可能なもの

☆ A の B がある⇒ A に（は）B がいる／ある：　A　属格 का　B　コピュラ

例 1）मेरे दो बड़े भाई हैं।　「私には兄が二人いる。」

例 2）मेरा एक भाई है।　「私には兄が一人いる。」

例 3）मेरी दो छोटी बहिनें हैं।　「私には妹が二人いる。」

> 注
>
> Kachru は譲渡不可のものには के が独立して使用されるとしているが [2, pp.121-2]、現代ではあまり見られず、上掲の例文通り属格後置詞 का は主要名詞に一致する。また、属格 का の代わりに与格 को が使用されることも増えてきている。

12.3　時を表す表現

12.3.1　日、曜日

☆　1 日の時間細分

朝、早朝　：　सुबह (को)、सवेरे

昼〜午後　：　दोपहर को ／ में

夕方〜夜　：　शाम को ／ में（主に薄暗くなる時間帯）

夜〜深夜　：　रात को ／ में

☆　日を表す語

1 日前 (昨日) ／ 1 日後 (明日)　：　कल

2 日前 (一昨日) ／ 2 日後 (明後日)　：　परसों

3 日前 (一昨昨日) ／ 3 日後 (明々後日)　：　अतरसों ／ नरसों

☆　時、日に関する副詞句（斜格語句）

今 : इस समय　あの時 : उस समय　どの日 : किस समय　関係詞 : जिस समय　いつ (の時) か : किसी समय

この頃 : इन दिनों　あの頃 : उन दिनों　いつ頃 : किन दिनों　関係詞 : जिन दिनों

☆　曜日を表す語

ヒンディー語の曜日	
曜日	ヒンディー語
日曜日	इतवार または रविवार
月曜日	सोमवार
火曜日	मंगलवार
水曜日	बुधवार
木曜日	बृहस्पतिवार または गुरुवार
金曜日	शुक्रवार
土曜日	शनिवार

注

曜日を副詞で使用する場合は、すべて को を付ける。また各曜日の語尾 -वार は口語体では省略可。

12.3.2 週、月、年、回

☆ 週、月、年、回を表す語

週 : हफ़्ता、सप्ताह
月 : महीना、मास
年 : साल、वर्ष
回 : बार

☆ 週、月、年、回を表す副詞句（斜格語句）

先週 : पिछले हफ़्ते　今週 : इस हफ़्ते　来週 : अगले हफ़्ते　あの週 : उस हफ़्ते　どの週 : किस हफ़्ते
先月 : पिछले महीने　今月 : इस महीने　来月 : अगले महीने　あの月 : उस महीने　どの月 : किस महीने
去年 : पिछले साल　今年 : इस साल　来年 : अगले साल　あの年 : उस साल　どの年 : किस साल
前回 : पिछली बार　今回 : इस बार　次回 : अगली बार

注

上掲の例の通り、「前の、先」には पिछला の変化形 पिछले, पिछली を、今」には इस を、「次の、来」には अगला の変化形 अगले, अगली を付ける。また、हर बार「毎回」のように、「毎○」の「毎」には हर を付けて表す。

☆ 月の名前（グレゴリオ暦）

月の名前（グレゴリオ暦）											
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
जनवरी	फ़रवरी	मार्च	अप्रैल	मई	जून	जुलाई	अगस्त	सितंबर	अकतूबर	नवंबर	दिसंबर

注

月の名前を副詞で使用する場合は、को あるいは में を付ける。ちなみに日付をいう場合は को を付ける。例）२२ मार्च को「3月22日（に）」　なお、4月は अप्रील と綴ることもある。

12.4　時刻に関する表現

कितने बजे हैं? ＝何時ですか。

○ **बजे** ＝○時

○ **बजकर** △ **मिनट** ＝○時△分

एक बजा है।　1時だ。

एक बजकर दस मिनट (हुए) हैं।　1時10分だ。

डेढ़ बजा है।　1時半だ。（1.5時）

पौन बजा है।　12時45分だ。（1時15分前）

दो बजे हैं।　2時だ。

ढाई बजे हैं।　2時半だ。（2.5時）

साढ़े तीन बजे हैं।　3時半だ。［3以上は0.5を付加する場合 साढ़े を前置する］

सवा दस बजे हैं।　10時15分だ。（10時15分過ぎ）

पौने दस बजे हैं।　9時45分だ。（10時15分前）

注

分には英語の minute（मिनट）、同じく秒には second（सेकेंड）を使用する。また､「少し待って（ください）」の意を表わす時にこれらを使い、एक मिनट や एक सेकेंड と言う。
副詞句の場合は後置詞 पर を付ける。例)「1時10分に」: एक बजकर दस मिनट पर

参考文献

[1] Kachru, Yamna. 1969.“A Note on Possesive construction in Hindi-Urdu”in *Journal of Linguistics* 6, pp.37-45.
[2] Kachru, Yamna. 1980. *Aspects of Hindi Grammar*. New Delhi: Manohar.
[3] Jagannathan, V. R. 1981. *Prayog aur prayog*. New Delhi: Oxford University Press.
[4] Nishioka, Miki. 2011. *Hindīgo no jūsōteki tōgo kōzō*. Hyōgo: Kansaigakuin Daigaku Shuppankai.
[5] Snell, Rupert. 2010. *Teach Yourself Get Started in Hindi (Teach Yourself Beginner's Languages)*. Teach Yourself Books.
[6] Tanaka, Toshio and Machida, Kazuhiko. 1986. *Express Hindi*. Tokyo: Hakusuisha.

～～ 付　　録 ～～

ヒンドゥー暦早見表

ヒンドゥー暦（太陽太陰暦）の月名		
月	ヒンドゥー月	別　称
第1月	चैत्र	चैत
第2月	वैशाख	वैसाख
第3月	ज्येष्ठ	जेठ
第4月	आषाढ़	आसाढ़
第5月	श्रावण	सावन
第6月	भाद्रपद	भादों
第7月	आश्वीन	असोज, क्वार
第8月	कार्तिक	कातिक
第9月	मार्गशीर्ष	मार्गशिर, अगहन
第10月	पौष	पूस
第11月	माघ	
第12月	फाल्गुन	

太陰月（朔望月）における日の名称			
白月	शुक्ल पक्ष	黒月	कृष्ण पक्ष
第1日目	प्रथमा（प्रतिपदा／पड़वा）	第1日目	प्रथमा（प्रतिपदा／पड़वा）
第2日目	द्वितीया（दौज／दूज）	第2日目	द्वितीया（दौज／दूज）
第3日目	तृतीया（तीज）	第3日目	तृतीया（तीज）
第4日目	चतुर्थी（चौथ）	第4日目	चतुर्थी（चौथ）
第5日目	पंचमी	第5日目	पंचमी
第6日目	षष्ठी（छठ）	第6日目	षष्ठी（छठ）
第7日目	सप्तमी（साते）	第7日目	सप्तमी（साते）
第8日目	अष्टमी（आठे）	第8日目	अष्टमी（आठे）
第9日目	नवमी（नौमी）	第9日目	नवमी（नौमी）
第10日目	दशमी	第10日目	दशमी
第11日目	एकादशी	第11日目	एकादशी
第12日目	द्वादशी	第12日目	द्वादशी
第13日目	त्रयोदशी	第13日目	त्रयोदशी
第14日目	चतुर्दशी（चौदस）	第14日目	चतुर्दशी（चौदस）
第15日目	पंचदशी ＝ पूर्णिमा（満月）	第15日目	पंचदशी ＝ अमावस्या（新月）

＊（　）内のヒンディー語は俗称。

主なヒンドゥー教のお祭り (2016年版)

1. Rama Navami (April 15, 2016)
   चैत्र शुक्ल नवमी（チャイトラ月白月 9日目）
2. Buddha Jayanti or Purnima (May 21, 2016)
   वैशाख पूर्णिमा（ヴァイシャーカ月満月）
3. Guru Poornima (July 20, 2016)
   आषाढ़ पूर्णिमा（アーシャーラ月満月）
4. Raksha Bandhan or Rakhi (August 18, 2016)
   श्रावण पूर्णिमा（シュラワナ月満月）
5. Krishna Janamashtami (August 25, 2016)
   भाद्रपद कृष्ण अष्टमी（バードラパダ月黒月 8日目）
6. Vijaya Dashami, Dussehra or Dasara (October 26, 2016)
   आश्विन शुक्ल दशमी（アーシュヴィナ月白月 10日目）
7. Diwali (October 30, 2016)
   आश्विन कृष्ण त्रयोदशी से कार्तिक शुक्ल द्वितीया（アーシュヴィナ月黒月 13日目からカールティカ月白月 2日）
8. Chhoti Holi (Holika Dahan) and Holi (March 12-13, 2017)
   फाल्गुन पूर्णिमा से कृष्ण प्रतिपदा（パールグナ月満月から黒月 1日目）

ヒンディー語，ウルドゥー語の曜日対応表

曜日	ヒンディー語	ウルドゥー語
日曜日	इतवार ／ रविवार	इतवार（اتوار）
月曜日	सोमवार	पीर（پیر）
火曜日	मंगलवार	मंगल（منگل）
水曜日	बुधवार	बुध（بدھ）
木曜日	बृहस्पतिवार ／ गुरुवार	जुमेरात（جمعرات）
金曜日	शुक्रवार	जुमा（جمعہ）
土曜日	शनिवार	हफ़्ता ／ सनीचर（ہفتہ ／ سنیچر）
週	सप्ताह ／ हफ़्ता	हफ़्ता（ہفتہ）

ヒンドゥーの主な紀元

1. विक्रम संवत्（ヴィクラマ紀元）：西暦紀元前57年 विक्रमादित्य 王
2. शक संवत्（シャカまたはサカ紀元＝インド国定暦）：西暦紀元78年　शालिवाहन शक

ヒンドゥー神話による世界期

1. सतयुग ／ कृतयुग：黄金期
2. त्रेता युग：白銀期
3. द्वापर युग：過渡期／変遷期
4. कलियुग：堕落期、紀元前3102に始まり432,000年続くという。

プラーナによる方角／方向と守護神（दिक्पाल）

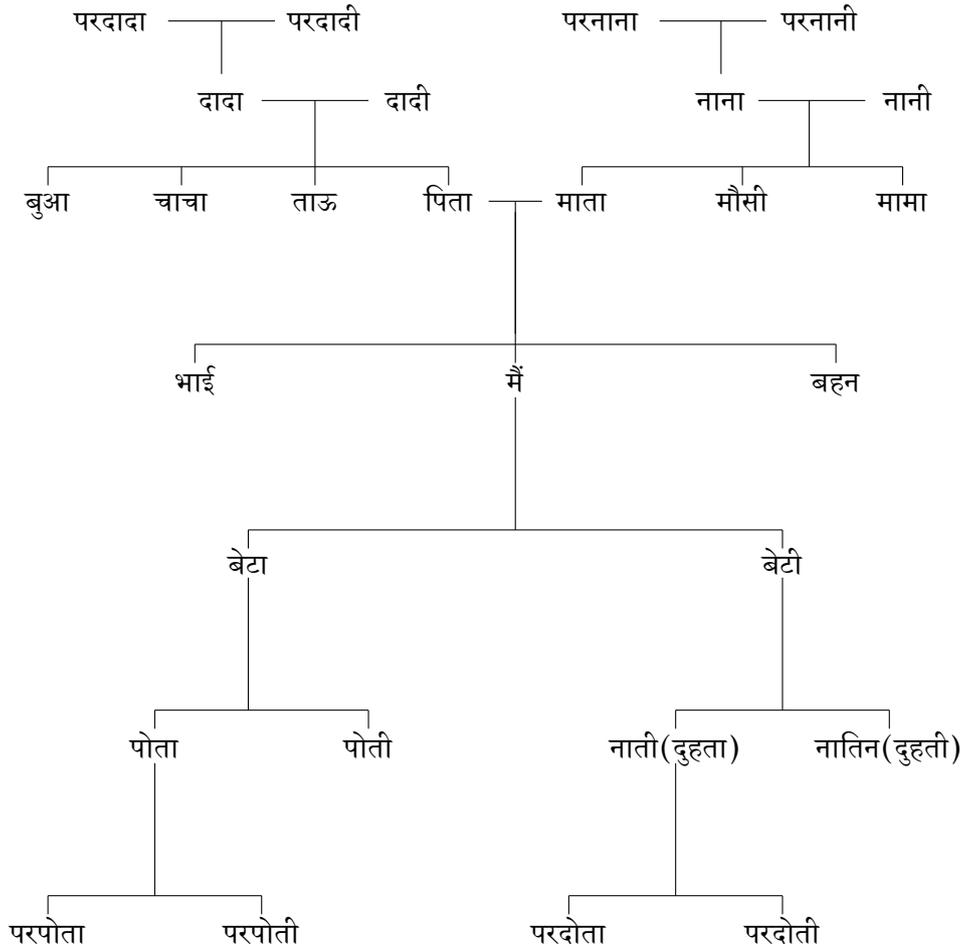
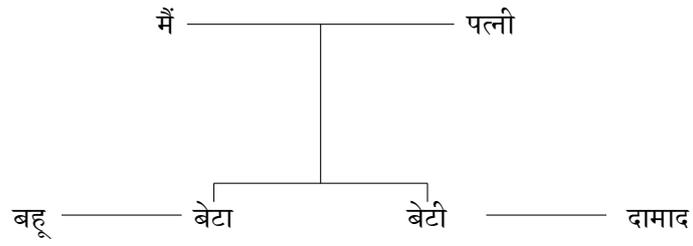
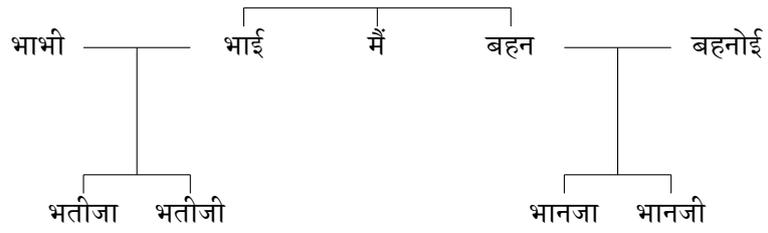
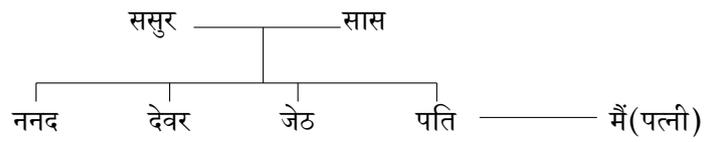
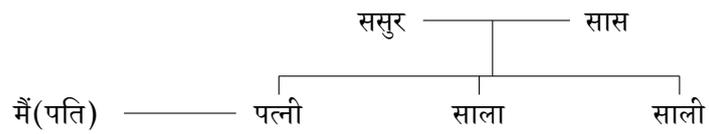
方角／方向	守護神	方角／方向名称
東	इन्द्र	पूर्व
東南	अग्नि	अग्निकोण
南	यम	दक्षिण
南西	नैर्ऋत	नैर्ऋतकोण
西	वरुणा	पश्चिम
西北	मरुत्	वायुकोण
北	कुवेर	उत्तर
北東	ईश	ईशानकोण
上（天界）	ब्रह्मा	ऊर्ध्वदिशा
下（下界）	अनंत	अधोदिशा

親族名称語彙　(नाते-रिश्ते की शब्दावली)

＜図①：直系親族＞

＜図②：配偶者１　本人編＞

（図③：配偶者２　兄弟姉妹編）

＜図④：婚嫁先＞

＜図⑤：妻の実家＞

I. 直系の親族

父方の祖父	दादा	父方の祖母	दादी
母方の祖父	नाना	母方の祖母	नानी
父方の伯父	ताऊ ／ ताया	その妻	तायी
父方の叔父	चाचा	その妻	चाची
父方の伯母・叔母	बुआ ／ फूफी	その夫	फूफा
母方の伯父・叔父	मामा	その妻	मामी
母方の伯母・叔母	मौसी	その夫	मौसा
自分の兄弟	भाई	その妻	भाभी
自分の姉妹	बहन ／ बहिन	その夫	बहनोई
自分の息子	बेटा	その妻	बहू
自分の娘	बेटी	その夫	दामाद
自分の息子の息子	पोता	その娘＝孫娘	पोती
自分の娘の息子	नाती ／ दुहता (दोता)	その娘＝孫娘	नातिन ／ दुहती (दोती)
甥	भतीजा ／ भानजा	姪	भतीजी ／ भानजी

＊参照図 ①，②，③

II. 従兄弟もしくは従姉妹の表わし方

上記の親族名詞から派生した以下の形容詞を複合させて従兄弟もしくは従姉妹を表わす。

父方の伯父の	＝	तयेरा
父方の叔父の	＝	चचेरा
父方の伯母・叔母の	＝	फुफेरा
母方の伯父・叔父の	＝	ममेरा
母方の伯母・叔母の	＝	मौसेरा ／ मसेरा

父方の従兄弟	तयेरा भाई	父方の従姉妹	तयेरी बहन
	चचेरा भाई		चचेरी बहन
	फुफेरा भाई		फुफेरी बहन
母方の従兄弟	ममेरा भाई	母方の従姉妹	ममेरी बहन
	मौसेरा भाई		मौसेरी बहन

＊参照図 ①

III. 婚嫁先

舅	ससुर	姑	सास
夫（義理）の兄	जेठ	その妻	जेठानी
夫（義理）の弟	देवर	その妻	देवरानी
夫（義理）の姉妹	ननद	その夫	ननदोई

＊参照図 ④

IV. 妻の実家

舅	ससुर	姑	सास
妻（義理）の兄弟	साला	その妻	सलहज
妻（義理）の姉妹	साली	その夫	साढ़ू

＊参照図 ⑤

参考文献

[1] Aslaksen, H and Regulagedda, A. *Names of the Months in the Indian Calendars* available from http://www.math.nus.edu.sg/aslaksen/calendar/indian_months.html［2016年6月19日アクセス］
[2] drikPanchang. ”2017 Hindu Festival” available from http://www.drikpanchang.com/calendars/hindu/hinducalendar.html?year=2017［2016年6月19日アクセス］
[3] Lian, Leow C. *Indian Calendars* available from http://www.math.nus.edu.sg/aslaksen/projects/lcl.pdf［2016年6月19日アクセス］